

第二十三回 帝國議會 貴族院議事速記録第十六號

明治四十年三月二十二日(土曜日)

午前十時八分開議

議事日程 第十六號 明治四十年三月二十三日

午前十時開議

第一 明治四十年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)審查期限ヲ定ムルノ件

第二 明治四十年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)審查期限ヲ定ムルノ件

第三 移民保護法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第五 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(政府提出案) 第一讀會

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第七 森林法改正法律案(政府提出) 第一讀會(續(委員長報告))

第八 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會

第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十二 會計法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十四 衛生參考館擴張ノ建議案(三宅秀君提出) 會 議

第十五 北海道鐵道買收補償ニ關スル請願 會 議

第十六 妊婦ノ犯罪ニ關スル請願 會 議

第十七 利根川及江戸川浚渫工事進捗ノ請願 會 議

第十八 渡良瀨川河身改修ノ請願 會 議

第十九 函館港灣修築ニ關スル請願 會 議

第二十 高等工業學校設立ニ關スル請願 會 議

第二十一 狩獵法施行規則一部改正ノ請願 會 議

第二十二 日露戰役ニ關スル個人損害救済ノ請願 會 議

第二十三 學生團體乘車割引規程改正ノ請願 會 議

第二十四 人權保護ノ請願 會 議

第二十五 立木ニ關スル登記法制定ノ請願 會 議

第二十六 家祿不足額給與ノ請願 會 議

第二十七 裁判所支部復舊ニ關スル請願 會 議

第二十八 利根、渡良瀨兩川改修工事速成ノ請願 會 議

第二十九 賣藥稅法改正ノ請願 會 議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

〔東久世書記官朗讀〕

一昨二十一日本院ニ於テ否決シタル郡制廢止法律案ハ即日更ニ廟議ヲ盡サ

レムコトヲ奏請シ及否決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

同日煙草專賣法中改正法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏

名左ノ如シ

委員長 子爵大田原 一清君 副委員長 男爵徳川 厚君

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

明治四十年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)

明治四十年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ同院提出案ヲ受領セリ

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

會計法中改正法律案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス

○伯爵柳原義光君 是ヨリ決算委員總會ヲ開キタウゴザイマスガ、定足數ニ

御差支ガ無ケレバ許可ヲ願ヒタウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 御出席ノ人數ガ如何ニモ少ウゴザイマスカラ、少

シ御見合セテ願ヒタウゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ議事日程ニ移リマス、議事日程第一、明治四十年度歳入歳出總豫算追加第二號審査期限ヲ定ムルノ件、…此際、諸君ニ御諮リテ致シマスガ、議事日程第二モ同様審査期限ヲ定ムル件デアリマスカラ、束ネテ問題ニ供シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、議事日程第二、明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算追加、特第二號、審査期限ヲ定ムルノ件

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

(第二號)明治四十年度歳入歳出總豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年三月二十一日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

(特第二號)明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年三月二十一日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

○伯爵正親町實正君 此審査期限ハ來ル二十五日中ニ審査ヲシテ報告スルト云フコトニ致シタイト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 異議ナシト云フ御聲デハ困リマス、賛成者ヲ得マセヌデハ動議トナリマセヌ

○子爵太田原一清君 賛成

○子爵松平忠禎君 賛成

○伯爵寺島誠一郎君 賛成

〔其他「賛成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 正親町伯爵ノ審査期限ヲ二十五日中ニト云フ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第三、移民保護法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、通牒文ノ朗讀ハ省略シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

移民保護法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年三月十九日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

移民保護法中改正法律案

移民保護法中左ノ通改正ス

第五條ニ左ノ一項ヲ加フ

移民取扱人ハ行政廳ノ許可ヲ得テ移民ト直接ノ關係ヲ有スル^{業務}運送業、農業、漁業又ハ鑛業ヲ營ムコトヲ得

〔第十五條〕ヲ〔第十五條ノ一〕ニ改ム

第十五條ノ二 行政廳ハ必要ト認ムルトキハ移民取扱人ニ同業組合ノ設立ヲ命スルコトヲ得

同業組合ハ法人トス

同業組合ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

〔第二十條〕ヲ〔第二十條ノ一〕ニ改ム

第四章 移民運送船

第二十條ノ二 本法ニ於テ移民運送船ト稱スルハ命令ヲ以テ定ムル地方ニ渡航スル五十人以上ノ移民ヲ搭載スル船舶ヲ謂フ

〔小字ハ衆議院ノ修正ハ同削除ノ符號〕

第二十条ノ三 移民運送船ニ依ル移民ノ運送ハ行政廳ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受ケタル者ハ行政廳ノ定ムル所ニ依リ保證金ヲ納付スヘシ
第二十条ノ四 行政廳ハ前條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行爲ニシテ法令若ハ許可ノ條件ニ違反シタルトキ又ハ移民ノ利益ヲ害スルモノト認ムルトキハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第二十条ノ五 移民運送船ニ依リ移民ノ運送ヲ爲サムトスル者ハ其ノ運送賃ニ關シ豫メ行政廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二十条ノ六 行政廳ハ移民運送船ノ發著港ヲ指定スルコトヲ得
第二十条ノ七 行政廳ハ移民運送船ノ船長ヲシテ運送移民ニ關スル諸般ノ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第五章 雜則

第二十条ノ八 金錢貸付ヲ業トスル者ニシテ移民ニ對シ渡航費其ノ他渡航ノ準備ニ必要ナル金錢ヲ貸與スルトキハ其ノ條件ニ付豫メ行政廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二十条ノ九 移民出發港ニ於テ移民宿泊業ヲ營マムトスル者ハ行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ許可ヲ受ケタル者ハ移民宿泊所ノ設備、移民ノ給養並宿泊料其ノ他移民ノ負擔ト爲ルヘキ事項ニ付豫メ行政廳ノ認可ヲ受クヘシ
第二十条ノ十 移民取扱人ニ非スシテ移民乗船ニ關スル周旋ヲ爲サムトスル者ハ行政廳ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ許可ヲ受ケタル者ハ移民乗船ニ關スル周旋ノ方法及移民ノ負擔ト爲ルヘキ事項ニ付豫メ行政廳ノ認可ヲ受クヘシ
第二十条ノ十一 行政廳ハ前二條ノ許可ヲ受ケタル者ノ行爲ニシテ法令ニ違反シタルトキ又ハ移民ノ利益ヲ害スルモノト認ムルトキハ其ノ營業ヲ停止シ又ハ營業ノ許可ヲ取消スコトヲ得

「第四章」ヲ「第六章」ニ改ム
第二十三條ニ左ノ一項ヲ加フ

行政廳ノ許可ヲ受ケスシテ第五條第二項ノ營業ヲ爲シタル移民取扱人亦前項ニ同シ

「第二十六條」ヲ「第二十六條ノ一」ニ改ム

第二十六條ノ二 第二十条ノ三ニ違反シタル者ハ五百圓以上一萬圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條ノ三 第二十条ノ五ニ違反シタル者ハ二百圓以上三千圓以下ノ罰金ニ處ス行政廳カ移民運送船ノ發著港ヲ指定シタル場合ニ於テ其ノ指定ニ違反シタル者亦同シ

前項ノ罰金ハ保證金ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
第二十六條ノ四 第二十条ノ七ニ依リ行政廳ノ命シタル報告ヲ爲ササル者ハ五十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條ノ五 第二十条ノ八第二十条ノ九及第二十条ノ十二違反シタル者ハ百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處ス
「第五章」ヲ「第七章」ニ改ム

附則

本法ハ明治四十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

「政府委員珍田捨巳君演壇ニ登ル」

○政府委員(珍田捨巳君) 唯今御會議ニ上ボリマシタ所ノ移民保護法改正法律案ニ付イテ一言提出ノ理由ヲ申述ベマス、現行ノ移民保護法ハ去ル明治二十九年ノ制定ニ關ハルモノデゴザイマシテ、爾來一兩度多少ノ改正ヲ加ヘマシタガ、改正ノ範圍ハ極メテ狭少デゴザイマシテ、法律ノ實質ニ於キマシテハ依然トシテ制定當時ノ分ト同ジコトデゴザイマス、然ルニ此既往十年間ニ於キマシテ移民事業ハ長足ノ進歩ヲ爲シタノデゴザイマス、從ヒマシテ此業ニ對シマシテ必要ナル取締ヲ爲ス上ニ於キマシテモ、亦此業ヲ發達セシムルノ目的ヲ遂グル上ニ於キマシテモ今日ノ法律ノ儘デハ少カラズ不備ノ點アルコトヲ發見イタシタノデアリマス、就キマシテハ今回斯ノ如キ改正法律案ヲ提出イタシマシテ此闕如シテ居ル點ヲ補ヒ、一方ニ於テハ適當ノ取締監督ヲ加ヘ、又一面ニ於テハ適當ノ保護ヲ加ヘテ此業ヲ發達セシムルノ目的ニ副ハムトスルノ趣意デゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御質問モ無イヤウデアリマスカラ、次ノ議事日程ニ移リマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第四、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、議長ガ此特別委員ヲ選定シテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、此際諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、本日ノ委員付託ハ皆…特別委員ノ指名ハ皆議長ニ御一任ニナリマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第五、市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十年三月二十一日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

〔表中小字ハ衆議院ノ修正、ハ同削除ノ符號〕

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案
第四條 退隱料ノ年額ハ退職現時ノ俸給ト在職年數トニ從ヒ別表ニ依リ之ヲ定ム但シ在職四十年以上ノ者ニ給スヘキ退隱料ハ四十年ノ額トス

前項ニ依リ退隱料年額ヲ定ムルハ十五年以上官立公立小學校ニ勤績シタル者ニ退隱料ヲ支給スル場合ニ限ル其ノ他ノ場合ニ於テハ官吏恩給法第五條ヲ準用ス

退隱料ヲ受クル者前ニ退職給與金ヲ受ケタルトキハ最初ノ十年間其ノ退職給與金ノ十分ノ一ニ相當スル金額ヲ退隱料年額ヨリ控除ス

兼職ニ依リテ受クル加俸ハ退隱料年額ヲ算定スルニ當リ之ヲ除算スヘシ
第四條ノ二 退隱料ヲ受クル者公立學校職員、公立圖書館職員、小學校ノ本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル公立幼稚園ノ保姆、在外指定學校職員又

ハ教育事務ニ従事スル文官ト爲リタル後滿一年以上ニシテ退職又ハ退官シタルトキハ前後ノ在職在官年數ヲ通算シ後職又ハ後官ニ對スル退隱料ト前ノ退隱料トヲ比較シ其ノ額多キ方ヲ給ス

前項ノ場合ニ於テ本法ニ依ル退隱料額カ府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法、明治二十九年法律第十三號又ハ在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法ニ依ル退隱料額ニ比較シ多キトキハ其ノ退隱料ハ本法ニ依リ之ヲ支給スルモノトス

第四條ノ三 官吏恩給法第六條、第十條、第十二條第一項及第十三條第二項ハ退隱料ニ之ヲ準用ス

退隱料等ノ支給上在職年數ノ算定ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第五條ニ左ノ但書ヲ加ヘ第一號ヲ左ノ如ク改ム

但シ第一號ノ場合ニ於テハ其ノ差額ニ限り支給ヲ停止ス
一 公務ニ就キ受クル給料ト退隱料トヲ合シタル金額退職現時ノ給料額ヲ超過スルトキ

第八條第二項以下ヲ左ノ如ク改ム

市町村立小學校正教員ニシテ教育事務ニ従事スル文官又ハ他ノ待遇文官ニ轉任シタル者退官又ハ退職シタルトキハ小學校教員ノ在職年數ニ應シ前項ノ給與金ヲ給ス

第二條若ハ第三條ニ依リ退隱料ヲ受クル者、他ノ法律ニ依リ退隱料若ハ恩給ヲ受クル者、自己ノ便宜ニ依リ退職退官シタル者又ハ免職ニ處セラレ、懲戒處分若ハ刑事裁判ニ依リ免官セラレ若ハ失職ニ該當シタル者ハ前二項ノ限ニ在ラス

本條ノ退職給與金ヲ受ケタル者市町村立小學校正教員ニ再任シ爾後退職シタルトキハ第一項ノ在職年數ハ再任ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第九條中「市町村長ノ證明ニ依リ」ヲ削ル

第十二條第二項ヲ左ノ如ク改ム
前項ノ扶助金ハ退職給與金ノ額ト同額トス

附則
本法施行前退隱料ヲ受ケタル者ニシテ本法施行後再市町村立小學校教員ト爲リ在職三年以上ニ至ラスシテ退職シタル者ニハ仍從前ノ規定ヲ適用ス

(別表)

市町村立小學校教員退隱料表

在職年數	七十五歳以上	六十歳以上	五十歳以上	四十歳以上	三十歳以上	二十五歳以上	二十歳以上	十五歳以上	十歳以上	五歳以上	未滿
十五年	三三五	一八九五	一八〇	一五〇	一三五	一一〇	一〇五	九六	八八	七三	六〇
十六年	三三三	一八〇	一七一	一五五	一四〇	一三四	一二六	九九	八七	七五	六二
十七年	三三〇	一七六	一七二	一五〇	一四〇	一三二	一二六	九九	八七	七五	六二
十八年	三二八	一七二	一六八	一四八	一四〇	一三二	一二六	九九	八七	七五	六二
十九年	三二五	一六八	一六四	一四八	一四〇	一三二	一二六	九九	八七	七五	六二
二十年	三二二	一六四	一六〇	一四八	一四〇	一三二	一二六	九九	八七	七五	六二
二十一年	三一九	一六〇	一五六	一四八	一四〇	一三二	一二六	九九	八七	七五	六二
二十二年	三一七	一五六	一五二	一四八	一四〇	一三二	一二六	九九	八七	七五	六二
二十三年	三一五	一五二	一四八	一四〇	一三二	一二六	一二〇	九九	八七	七五	六二
二十四年	三一三	一四八	一四四	一四〇	一三二	一二六	一二〇	九九	八七	七五	六二
二十五年	三一〇	一四四	一四〇	一三二	一二六	一二〇	一二〇	九九	八七	七五	六二
二十六年	二九七	一四〇	一三六	一三二	一二六	一二〇	一二〇	九九	八七	七五	六二
二十七年	二九四	一三六	一三二	一二六	一二〇	一二〇	一二〇	九九	八七	七五	六二
二十八年	二九二	一三二	一二八	一二六	一二〇	一二〇	一二〇	九九	八七	七五	六二
二十九年	二九〇	一二八	一二四	一二六	一二〇	一二〇	一二〇	九九	八七	七五	六二
三十年	二八七	一二四	一二〇	一二六	一二〇	一二〇	一二〇	九九	八七	七五	六二
三十一	二八五	一二〇	一二六	一二〇	一二〇	一二〇	一二〇	九九	八七	七五	六二
三十二年	二八二	一二六	一二二	一二六	一二〇	一二〇	一二〇	九九	八七	七五	六二
三十三年	二八〇	一二二	一二八	一二六	一二〇	一二〇	一二〇	九九	八七	七五	六二
三十四年	二七七	一二八	一二四	一二六	一二〇	一二〇	一二〇	九九	八七	七五	六二
三十五年	二七五	一二四	一二〇	一二六	一二〇	一二〇	一二〇	九九	八七	七五	六二
三十六年	二七二	一二〇	一二六	一二〇	一二〇	一二〇	一二〇	九九	八七	七五	六二
三十七年	二七〇	一二六	一二二	一二六	一二〇	一二〇	一二〇	九九	八七	七五	六二
三十八年	二六七	一二二	一二八	一二六	一二〇	一二〇	一二〇	九九	八七	七五	六二
三十九年	二六五	一二八	一二四	一二六	一二〇	一二〇	一二〇	九九	八七	七五	六二
四十年	二六二	一二四	一二〇	一二六	一二〇	一二〇	一二〇	九九	八七	七五	六二

國務大臣牧野伸顯君演壇ニ登ル

○國務大臣(牧野伸顯君) 説明ヲ申上ゲマス、此法案ハ小學校教員ノ退隱料ヲ進メルト云フ案デゴザイマス、現行法ニ依リマス、官吏恩給法ト同様ニ十五年後初メテ退隱料ニ浴スル規定ニナツテ居リマス、ソレカラ十五年以後在職年數ニ應ジテ退隱料ノ金額ガ増加イタシマス率モ矢張り同ジク官吏恩給法ト同様ノ規定ニナツテ居ルノデゴザイマス、然ルニ小學校教員ノ給料ハ誠ニ薄給デゴザイマシテ、從ツテ給料ヲ本トシテ算出イタシマス退隱料ハ、此額ガ僅少ナル所以デゴザイマス、小學校教員ノ待遇ハ概シテ低イノデアリマシテ、其點ニ於テハ當局ニ於テ甚ダ心痛シテ居ルノデアリマシテ、今般ノ改正案ハ其待遇ヲ聊カ進メルト云フ考ヲ以テ改正ヲ企ツタノデアリマス、此新シイ法案ニ依リマス、四十一年間奉職イタシマシタ曉ニハ今日ノ法律ニ依ツテ受ケル所ノ退隱料ノ額ニ較ベマス、丁度、倍ノ額ニナルノデアリマス、倍ニナリマス以上ハ小學校教員ノ境遇ヲ改メルト云フコトニ多少ノ效力ノ有ルコトヲ疑ヒマセヌノデアリマス、目今ノ所小學校教員ハ甚ダ不足イタシテ居リマス、一方ニ於キマシテハ一年ニ凡ソ七千餘ノ資格アル教員ガ教育社會ニ出來ル譯デゴザイマスガ、ソレニ拘ラズ尙ホ小學校教員ハ不足イタシテ居リマス、其不足ヲ補フコトハ教育上最モ今日ノ急務デアリマスガ、何分ニモ教員ノ待遇ノ薄弱ナル爲ニ、兎角他ノ待遇ノ宜シイ、比較的宜シイ方面ニ轉職スル者ガ多ウゴザイマシテ、一方ニ於テ七千有餘ノ供給アルニ拘ラズ、其割合ニ教員全體ノ數ガ殖エマセヌ次第デアリマシテ、要スルニ今日ハ教員ノ待遇ヲ聊カニテモ進メルト云フ必要ガアルノデアリマスカラ、此改正ヲ企テタ次第デゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御質問モ無イヤウデゴザイマスカラ、次ノ日程ニ移リマス、是ハ曩ニ議長選定ト定マリマシタカラ、議事日程第七ニ移リマス

○議長(公爵徳川家達君) 森林法改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告、二條公爵

森林法改正法律案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治四十年三月二十一日

貴族院議長公爵徳川家達殿

右特別委員長
公爵二條 基弘

森林法

第一章 總則

〔特別委員ノ修正ニ係ル部分ノミヲ載録ス小字ハ修正ノハ同前除ノ符號〕

第一條 本法ニ於テ森林ト稱スルハ林叢地及現ニ造林ノ用ニ供スル土地ヲ謂フ

第二條 森林ノ立木竹ヲ所有スル爲地上權、賃借權其ノ他土地ニ關シ使用又ハ收益ヲ爲ス權利ヲ有スル者アルトキハ其ノ權利者ヲ以テ本法ニ依ル森林所有者ト看做ス

前項ノ權利ニ箇以上同一ノ土地ノ上ニ存在スル場合ニ於テハ最後ニ設定セラレタル權利ヲ有スル者ヲ以テ前項ノ森林所有者トス

第三條 森林ハ其ノ所有者ニ依リ之ヲ分チテ御料林、國有林、公有林、社寺有林及私有林トス

前項ノ種別ニ依リ難キ森林ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ヲ適用ス

〔第四條「チ」第三條ニ修正シ第五條、第六條條數ヲ順次繰上ク

第七條 民法第二百五十六條ノ規定ハ共有ノ森林ニ之ヲ適用セス但シ各共有者持分ノ價格ニ從ヒ其ノ過半數ヲ以テ分割ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス

第八條 公園、社寺境内及命令ヲ以テ定ムル土地ニ付テハ本法ヲ適用セス但シ命令ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ書類ヲ送付スヘキ場合ニ於テ送付ヲ爲スコト能ハサルトキハ官報又ハ行政廳慣行ノ公布式ヲ以テ之ヲ公示シ其ノ公示ノ日ヨリ二十日ヲ經過シタルトキハ其ノ末日ニ於テ送付アリタルモノト看做ス

第二章 營林ノ監督

第十條 地方長官ニ於テ必要アリト認ムルトキハナシテ公共團體又ハ社寺ノ代表者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ森林又ハ森林

トシテ管理スヘキ土地ニ付施業案又ハ施業要領ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

地方長官ニ於テ必要アリト認ムルトキハ公有林又ハ社寺有林ノ施業案又ハ施業要領ノ變更ヲ命スルコトヲ得

〔第十一條「チ」第十條ニ修正シ同條第三項中「第二十六條」ヲ「第二十五條」ニ修正ス
〔第十二條「チ」第十一條ニ修正ス

第十三條 本法施行以前ヨリ荒廢ニ屬シタル森林ニ付新ニ造林シタルトキハ其ノ納稅義務者ノ申請ニ依リ其ノ造林シタル部分ニ限り三十年以内地租ヲ免スルコトヲ得

前項ノ規定ハ地方長官ニ於テ森林以外ニ供用シ難シト認定シタル土地ニ新ニ造林シタル場合ニ之ヲ準用ス

府縣市町村其ノ他ノ公共團體ハ前二項ニ依リ地租ヲ免セラレタル土地ニ對シ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス

第十四條 公有林、社寺有林又ハ私有林ニ付地方長官ハ土地ノ狀況ニ依リ箇所及期間ヲ指定シ落葉、落枝、柴草、土石、樹根、草根、切芝ノ採取若ハ採掘ニ關スル制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

前項ノ外地方長官ハ主務大臣ノ認可ヲ得テ森林ノ使用收益ニ關スル弊害ヲ矯正スル爲必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

〔第十五條「チ」第十四條ニ修正シ第十六條以下第二十五條條數ヲ順次繰上ク
原案第二十一條第二十二條中「第十九條」ヲ「第十八條」ニ修正ス

第十六條 地方長官ニ於テ保安林ノ編入ニ關シ必要アリト認ムルトキハ其ノ森林ニ於ケル木竹ノ伐採ヲ停止スルコトヲ得但シ其ノ停止期間ハ一箇年ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ニ依リ木竹ノ伐採ヲ停止セラレタル森林ト雖保育ノ爲必要ナルトキ又ハ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ之ヲ伐採スルコトヲ得

〔第二十七條「チ」第二十六條ニ修正シ第二十八條、第二十九條條數ヲ順次繰上ク

第三十條 前條第三項ニ依ル政府ノ補償金額ニ付不服アル者ハ其ノ補償

金額ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ^九六十日以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前條第三項但書ニ依ル負擔ニ付不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

「第三十一條」ヲ「第三十條」ニ修正シ第三十二條以下第三十六條迄條數ヲ順次繰上ケ

「第三十一條」ヲ「第三十條」ニ修正シ第三十二條以下第三十六條迄條數ヲ順次繰上ケ

「第二十八條」ヲ「第二十七條」ニ、同第三十五條中「第十二條」ヲ「第十一條」ニ修正ス

第三十七條 主務大臣ニ於テ必要アリト認ムル^一土地ニシテ第十四條第一號乃至第五號ノ場合ニ該當スルモノ^二ハ、**森林以外ノ土地**ニ付本章ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第三十八條 第十九條第二項、第二十九條乃至第三十一條ノ規定ハ御料林及國有林ニ之ヲ適用セス

第三十九條^七 第三十八條^八ニ修正シ第四十條以下第五十五條迄條數ヲ順次繰上ケ

原案第三十九條中「第四十一條」ヲ「第四十條」ニ、同第四十二條中「第五十六條」ヲ「第五十五條」ニ、同第四十八條中「第四十一條」ヲ「第四十條」ニ、同第四十九條中「第四十一條」ヲ「第四十條」ニ、同第五十五條中「第三十一條」ヲ「第三十條」ニ修正ス

第五十六條 土地ノ使用若ハ收用、補償金又ハ擔保ニ付協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ第四十一條第二項ノ通知後一箇年以内ニ地方森林會ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ裁決中土地ノ使用又ハ收用ニ關スルモノニ付不服アル者ハ主務大臣ニ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得但シ裁決ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ六十日ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第一項ノ裁決中補償金又ハ擔保ニ關スルモノニ付不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ裁決ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ^九六十日ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

「第五十七條」ヲ「第五十六條」ニ修正シ第五十八條以下第六十條迄條數ヲ順次繰上ケ

原案第五十九條第三項中「第四十一條」ヲ「第四十條」ニ、第四十二條ヲ「第四十一條」ニ、第四十七條ヲ「第四十六條」ニ、第五十二條ヲ「第五十一條」ニ、第五十三條ヲ「第五十二條」ニ、第五十四條ヲ「第五十三條」ニ、第五十六條ヲ「第五十五條」ニ修正ス

第六十一條 前數條ノ外流木竹ニ^一關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

「第六十二條」ヲ「第六十一條」ニ修正ス

第六十三條 森林組合ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ必要ナル事業ヲ爲ス爲一定ノ地區ヲ限リ之ヲ設立スルコトヲ得

一 國土保安ノ爲又ハ森林ノ荒廢ヲ防止シ若ハ荒廢セル森林ヲ回復スル爲必要ナルトキ

二 森林カ所有者ヲ異ニシ協同シテ施業ヲ爲スニ非サレハ其ノ利用ノ目的ヲ達スルニ困難ナルトキ

三 森林產物ノ運搬ニ必要ナル工事ヲ爲シ又ハ之ヲ維持スル爲關係者ノ協同ヲ必要トスルトキ

四 森林ノ危害防止ニ付關係者ノ協同ヲ必要トスルトキ

第六十六條 森林組合ノ組合員ハ^一地區内^二ノ森林ヲ所有スル者ニ限ル

「第六十七條」ヲ「第六十六條」ニ修正シ第六十八條以下第七十四條迄條數ヲ順次繰上ケ

第九十五條 第十四條ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

原案第九十六條中「第二十一條」ヲ「第二十條」ニ、「第二十六條」ヲ「第二十五條」ニ、同第九十七條中「第二十七條」ヲ「第二十六條」ニ、「第三十三條」ヲ「第三十二條」ニ、同第九十八條中「第二十八條」ヲ「第二十七條」ニ、同第九十九條中「第三十七條」ヲ「第三十六條」ニ、同第一百零七條第二項中「第十二條」ヲ「第十一條」ニ、同第一百零九條中「第十條」ヲ「第九條」ニ修正ス

○公爵二條基弘君 是ヨリ委員會ニ於キマシテノ結果竝ニ經過ヲ報道イタシマス、委員會ハ御委託ヲ受ケマシテカラ都合四タビ開キマシテ、漸ク御手許ニ差出シタ通リノ修正ヲ以テ原案ヲ可決シタ譯デアリマス、此修正案ノ趣旨トシマスル所ハ林業ノ發達ニ資セムトスルコトガ専ラ主意トナッテ居ルノデアリマス、ソレデ現行ノ法律ニ付イテノ内容ノ大部分ト云フモノハ、保安林、森林警察、又ハ森林犯罪等ト云フコトニ關シテノ規定ニ屬シテ居ル、其林業ノ發達ニ資スルト云フコトニ至ッテハ甚ダ缺乏シテ居ル點ガ多イノデアリマス、ソコデ今度此修正案ハ是等ノ缺點ヲ補フト云フコトヲ主ナル眼目トシテ出サレタ譯デ、兼ネテ現行法ノ實施以後十分ノ經驗ト云フモノニ徴シ合セテ、其

不都合ノ點ト云フモノハ改メテ修正サレタト云フコトガ、即チ此修正案ノ大意デアリマス、ソコデ此現行ノ方ト此修正案トノ違ヒハ此修正案ノ方ニ二ツノ科目ガ新ニ増設サレタノデアリマス、此新設ニナッタノハ即チ第四條ニ土地ノ使用及收用ト云フコトガアル、此目的ト云フモノハドウ云フコトカト云ヘバ、森林カラシテ出ル所ノ產物ヲ運搬スル爲ニ、又ハ其運搬ト云フコトニ關シタル設備ト云フコトニ付イテモ必要アルトキニハ地方長官ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ヲ使用シ又ハ水流ニ依ッテ、ソレヲ運搬スルト云フヤウナトキニ、又ハ他人ノ工作物ヲ使用シ變更スル、或ハ又ハソレヲ除イテ仕舞フト云フコトノ爲ニ其途ヲ開カムトスルトキハ、是マデノ林業上ニ非常ニ迷惑ヲ來タシタコトノアリマスルノヲ、今度此案ニ依リマシテ大ニ其發達ニ資スル爲ニ非常ニ便利ヲ與ヘタコトニナルコトデアリマス、ソレデモウツノハ此森林組合ノコトデアリマスガ、是モ今度新ニ設ケラレタル條項デアリマシテ、即チ森林所有者ハ組合ヲ設ケマシテ、即チ其組合ト云フモノハ公益法人ト爲スコトニ定メテ、サウシテ總テ申出タコト、届出タコトヲ調査スルト云フノガ大體ノ主意ニナッテ居リマス、是等ノ二ツガ新ニ今度ノ改正案ニハ加ハタ譯デアリマシテ、其他ハ舊來ノ：即チ現行法ニアリマスルモノノ中デ不明ナル點ヲ明ニ分ルヤウニ文字ヲ少シ入レタトカ、或ハ其書キ方ヲ變ヘタトカ云フ位ノコトニ止マッテ居ッテ、大體ニ於テハ現行法トサウ違ハナイ、大體ハ唯今申シマシタ土地ノ使用及收用ト森林組合ト二ツノ箇條ガ殖エタ譯デアリマス、大體委員會ニ於テハ御手許ニ回シタ通りノ修正ヲ爲シタダケデ、アトハ原案ノ通り可決シタ譯デアリマス、ソレデ是ヨリ修正ニ付キマシテ簡單ニ説明ヲ致サウト思ヒマスルガ、其前ニチヨット印刷ノ間違ガアリマスカラ、チヨット申シテ置キマスガ、四頁ノ第四行目ニ「原案第二十一條」ト云フ所ノ下ニ「第二十二條」ト云フコトヲ加ヘルノガ落テテ居リマス、ソレト第五頁ノ一番末行ノ「第五十六條」是ガ即チ詰リ「第五十五條」ト云フ字ノ誤デアリマスカラ、是ダケヲ訂正シテ置キマス、ソレカラ此第一條ヲ削除イタシマシタト云フ譯ハ、元來此第一條ハ森林ト云フモノニ付イテノ定義ヲ茲ニ與ヘラレタ譯デアリマスルガ、然ルニ此定義ヲ與ヘラレタ爲ニ林叢地ト云フモノハ非常ニ範圍ガ分ラナイ、ドレホド幅ガアルカ誠ニ漠トシテ分ラナイカラ、斯ウ云フ風ニ林叢地ト書イテ置イタナラバ定義ニ又定義ヲ加ヘナクテハ分ラヌト云フヤウナコトニナッテ、却ッテ是ガアル爲ニ疑惑ヲ生ズルヤウナ譯ニナル、

結局斯ウ云フヤウナコトハ誠ニ一目明瞭ニナルヤウニナル方ガ宜イ、現行法ニハ大目ニ依ッテ書キ舉ゲテアルガ、却ッテ其方ガ宜シイト云フコトデ、第一條ハ削除シタ方ガ宜カラウト云フノデ削除シタ譯デアリマス、其結果ト致シマシテ、第三條：舊ノ第三條デゴザイマス、是ハ即チ第一條ニ持ッテ來ルト云フコトニナル、是ガ即チ修正サレタ譯デアリマス、ソレカラ二頁ノ舊ノ第七條デゴザイマス、民法第二百五十六條云々ト云フ、是ハ此民法ノ二百五十六條ノ規定ト云フモノハ既ニ是デ定マッテ居ルノデアルケレドモ、併ナガラ此外ニ於テ、モ少シ文字ヲ加ヘナイト餘リ是ダケデハ一方ハ分割スルコトハ出來ルケレドモ、ソレデ此上ノ方デハ即チ分割ハイツデモ出來ルケレドモ、ドウシテモ此土地ノ分割ト云フコトハ許スコトハシナイト云フコトニナッテ居ル、ソレデハ餘リ窮屈デアルカラ今度ハ「各共有者持分ノ價格ニ從ヒ其ノ過半數ヲ以テ分割ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス」ト云フヤウニ加ヘマシテ、即チ分割ガ出來ルヤウニシタ方ガ却ッテ宜カラウト云フコトデ此修正案ガ出來タ譯デアリマス、ソレデ此舊ノ十條デスガ、是ノ修正ハ斯ウ云フヤウナ工合ニ、其原案ノヤウニシテ見マスレバ、何デモ彼デモ施業案又ハ施業要領ヲ實行スルヤウニナッテハ甚ダ迷惑ニナルコトデアルカラ、詰リ摘ンデ其コトヲ申セバ、總テ其何デモ此一項ノ方デ總テ地方長官ガ必要ト認メタトキハ公共團體又ハ社寺ノ代表者ヲシテ施業案又ハ施業要領ト云フモノヲ作ラセルコトガ出來ル、又變更スルコトモ出來ルト云フ意味ニ、詰リ二項ノ中カラ此意味ヲ含ンデ一項ニソレヲ持ッテ行ッタ方ガ却ッテ判然トシテ宜カラウト云フノデ、今度ハ地方長官云々ト云フ方ヲ茲デ修正ニナッタ譯デアリマス、ソレカラ此三頁ノ第十三條デス、即チ第十二條デスガ、前項ノ規定ハ「地方長官ニ於テ森林以外ニ供用シ難シト認定シタル土地」ト云フコトヲ省キマシタノハ、是ハ森林以外ニ供用シ難シト云フノハ、ドウ云フコトデアルカ、甚ダ漠トシテ分ラナイ、或ハ牧場其他ノ所デアッテモ木ヲ植エタノハ即チソレハ森林ト看做サナケレバナルマイ、然ルニ是等ヲ森林以外ト云フノハドウ云フノカ、甚ダ其解釋ニ苦シムノデアルカラ、ソレヨリハ現行法ニアル通り「原野、山岳又ハ荒蕪地」ト云フ地目ヲ舉ゲテ行ッタ方ガ明瞭ニ分ルコトデアル、サウ書イテアル方ガ宜カラウト云フノデ、是ハ變ッタ譯デアリマス、ソレカラ此ノ新ノ十三條、即チ舊ノ十四條デス、ソレノ二項ガ削ラレマシタ、是ハ即チ此本文ノ方デハ總テ落葉トカ其他ノモノヲ採取又ハ採掘ニ關スル制

限又ハ禁止ト云フコトハ地方長官ガスルコトニナツテ居ルノガ、第二項ノ方
デ以テ見ルト其箇條ガ現ハレテ居ナイ、サウスルト、イツデモ此枝打チトカ
又ハ草ヲ取ツタト云フヤウナコトヲシテ當局者カラシテ命ゼラレタル所ノモ
ノニ背イタト云フヤウナコトニナルト、當局者ト云フモノハ命令ヲ以テ其者
ニ對シテ罰スルト云フコトガ出來ルヤウナ話デ、甚ダ是ハ危險ナ話デア
ラシテ、斯ウ云フコトハ止メテ宜カラウ、強チ本文ノ方デ十分此制限ガア
ツテ決マツテ居ルカラ是ハ要ラヌコトデ、却ツテ斯ウ云フコトガアルト危險ヲ
生ズルト云フヤウナコトガ有ツテハイケンイカラ、是ハ削除スルガ宜カラウ
ト云フノデ、削除ニナリマシタ、デ四頁ノ舊ノ二十六條デス「但シ其ノ停止期
間ハ一箇年ヲ超ユルコトヲ得ス」ト云フノハ、一項デ落葉ノ採伐ヲ停止シテ
却ツテ危險ヲ防イダ方ガ宜カラウト云フ所カラ此修正ガ出來タノデアリマス、
ソレカラ舊ノ二十九條デス、即チ前ノ第一項ト云フモノハ即チ先キニ無クナ
ツタ一條ガ無クナツタ爲ニ此一項ト云フモノハ削ラレタノデアリマス、ソレカ
ラ舊ノ第三十條、是ハ「六十日以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得」トア
リマスガ、是ハ餘リ六十日デハ短カラウ、或ル場所ニ依ツテハナカ／＼廣イ
所ガアルカラ、此期間ト云フモノデハ到底、間ニ合ハヌコトガアルダラウ
カラ、モット伸バシタラ宜カラウト云フノデ、是ハ九十日ニシタ譯デアリマ
ス、ソレカラ此舊ノ三十七條デゴザイマスガ是モ矢張り森林以外ノ土地ト
云フモノハ省イテ「原野、山岳其ノ他ノ土地ニシテ第十四條第一號乃至第
五號ノ場合ニ該當スルモノ」ト云フコトヲ入レマシタノハ、是ハ餘ホド此意
味ハ即チ先キニ申シマシタ舊ノ第十二條第一項ニ「原野、山岳又ハ荒蕪地」
ト直シマシタ其意味ト同ジコトデアリマスカラシテ、茲ニ唯改メタ譯デア
リマス、ソレカラ此舊ノ第五十六條ノ末項デスガ、此「六十日」ト云フコト
デアリマスガ、是モ矢張り餘リ六十日デハ少カラウカラシテ「九十日」ニシ
タ方ガ宜シカラウト云フノデ殖ヤシタ譯デアリマス、モウ別段他ニ何モ意味
ハナカッタノデアリマス、ソレカラ此舊ノ六十一條デス「前數條ノ外流木竹ニ」
ト云フ下ニ「付土地又ハ水ノ使用ニ」ト云フ字ヲ入レマシタノハ、此原案デ
見レバ何モ流木竹ノ運搬ヲスルノハ地面バカリデハナイ即チ川ニ依ツテ運搬
スルモノモアル、シテ見レバ茲ニ土地又ハ水ノ使用ト云フノヲ入レタ方ガ明
デ宜カラウト云フノデ、是ガ這ツタ譯デアリマス、ソレカラ此舊ノ六十三條
ノ第三項ノ「森林產物」ノ下ニ「ノ」ノ字ガ這入、タ、是ハモウ別段ニ意味ハ

アリマセヌ、ソレカラ舊ノ六十六條「森林組合ノ組合員ハ」ノ下ニ「其ノ」
ノ二字、ソレカラ「地區内ニ於ケル」ト云フコトニシテ、即チ森林組合ノ組
合員ハ其ノ地區内ニ於ケル森林ノ所有者ニ限ルト云フコトニ直ツタノハ、本
文ノ通りデアリマスルト、少シ意味ヲ解シ兼ネルヤウナコトガ起ラウカラシ
テ、ソレヲ明瞭ナラシムルタメ「森林組合ノ組合員ハ其ノ地區内ニ於ケル森
林ノ所有者ニ限ル」ト云フコトニ書イタ方ガ明デアラウ、ソレデ所有者ト云
フコトニ直ツタト云フノハ、第二條ニ森林所有者ト云フコトガアリマスカラ、
ソレト同文ニナツタノデアリマス、其他ニ深イ意味ハ無イノデアリマス、ソ
レカラ今度新ニ第七十四條ト云フモノガ這入リマシタ、此「造林ノ用ニ供ス
ル土地ハ本章ノ適用上之ヲ森林ト看做ス」是ハ即チ前ノ第一章ノ第一條ガ削
レマシタ結果トシテ、此後ニ造林ノ用ニ供スルト云フ言葉ヲ何所カデ現ハサ
ナケレバナラヌカラ、第一條ノ方デ削レタ爲ニ新ニ此所ヘ持ツテ來テソレヲ
加ヘタノデアリマス、ソレデ此九十五條ノ修正ハ舊ノ第十四條ノ二項ガ削除
ニナリマシタ結果トシテ茲ニ此修正ヲスル必要ガ起ツタノデアリマス、即チ
「ニ依ル命令又ハ處分」ト云フコトデハ、少シ前ノガ削除ニナツタ爲ニイカ
ヌカラシテ「ノ制限又ハ禁止」ト云フコトニシタノデアリマス、大體ノ所ハ
先ヅ唯今述ベマシタヤウナコトデアリマシテ、其他ハ此正條ノ變更等ハモウ
別段ニ説明イタサヌデモ御承知ノコトデゴザイマスカラシテ、此修正ニナツ
ノハ全ク一條ガ削除ニナツタ結果デ總テガ變テ來タノデアリマス、デ大略ハ
前ニ述ベマシタ如クデアリマシテ、此他ニ於キマシテハ別段ニ委員會ニ於キ
マシテモ、又此修正案ニ對シテハ政府委員モ同意ヲ表サレマシタコトデアリ
マス、ソレデ委員會ニ於キマシテハ修正ノ通り滿場一致ヲ以テ可決シタ譯デ
アリマス、ドウカ皆様モ委員會ノ修正ニ御同意クダステ速ニ此案ノ可決セラ
レムコトヲ希望イタシマス、ソレデ此案ニ就イテノ御質問等ガゴザイマスル
ナラバ、ドウカ直ニ政府委員ニ御質問ヲ願ヒタウゴザイマス、其方ガ御便利
ト思ヒマスルカラ、此段一言申上ゲテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 政府ヨリ通牒ヲ得マシタカラ御報告ヲ致サセマス

「小原書記官朗讀」

市制改正法律案

町村制改正法律案

右議院法第三十條ニ依リ撤回ス

明治四十年三月二十三日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
内務大臣 原 敬

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御議論モ無イヤウデアリマスカラ、本案ヲ第二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○公爵二條基弘君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵山本實庸君 賛成

〔其他〕賛成「ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 二條公爵ノ直ニ第二讀會ヲ開クト云フ説ニ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開キマス、御異議ナケレバ全部ヲ問題ニ供シマス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 全部特別委員長ノ報告ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス、是デ第二讀會ハ終リマシタ

○公爵二條基弘君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵大田原一清君 賛成

○侯爵細川護成君 賛成

〔其他〕賛成「ト呼ブ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 二條公爵ノ直ニ第三讀會ヲ開ク説ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議通り御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ本案ハ確定イタシマシタ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第八、裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十年三月二十一日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 杉田 定一

明治二十三年法律第六十二號裁判所位置及管轄區域表中名古屋地方裁判所管内西尾區裁判所管轄三河國碧海郡安城町大字福釜、赤松並古井、同國同郡依佐美村大字高棚及同國幡豆郡豐坂村大字逆川、桐山並上六栗ヲ同地方裁判所管内岡崎區裁判所ノ管轄ニ、同地方裁判所管内岡崎區裁判所管轄同國碧海郡櫻井村大字川島並村高ヲ同地方裁判所管内西尾區裁判所ノ管轄ニ變更ス

附則

本法ハ明治四十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前西尾區裁判所又ハ岡崎區裁判所ニ於テ受理シタル事件ハ其ノ各區裁判所之ヲ裁判ス

○議長(公爵德川家達君) 別段御質問モ無イヤウデアリマスカラ、議事日程第十二移リマス

○議長(公爵德川家達君) 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十年三月二十一日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 杉田 定一

明治二十三年法律第六十二號裁判所位置及管轄區域表中宮城控訴院管轄陸奥ノ國ヲ函館控訴院ノ管轄ニ變更ス

附則

本法ハ明治四十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年六月三十日以前ニ於テ青森地方裁判所ノ爲シタル裁判ニ對スル上訴ハ宮城控訴院之ヲ管轄ス

〔政府委員齋藤十一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(齋藤十一郎君) 此法律案ハ宮城控訴院管轄陸奥ノ國ヲ函館控訴院ノ管轄ニ變更スト云フ案デゴザイマシテ、此案ニ就キマシテハ政府ハ御同意イタシ兼ネルノデゴザイマス、モト陸奥國ハ御承知ノ通りニ函館控訴院ニ屬シテ居ッタノデゴザイマスガ、去ル三十八年以來宮城ノ管轄ニ移リマシタ、其以來當時管轄ヲ變更シマシタ事情ト云フモノガ少シモ變更シテ居ラヌノデゴザイマス、或ハ此案ハ衆議院ニ於ケル請願ニ基キマシタ案デゴザイマシテ、其請願ノ理由ノ中ニハ日露戰役ニ關係ガアルヤウニ掲ゲテゴザイマス、船舶ノ缺乏、敵艦ノ出沒等ノコトガ書イテゴザイマスガ、三十八年ニ變更ヲ致シマシタ理由ハ全クソレト異ツテ居リマスル、仙臺ト函館トニ對シマスル青森カラノ地勢カラシテ宮城ノ控訴院ニ移スヲ至當ト認メラレタ次第デアリマス、其事情ハ今日少シモ變更シテ居ラヌノデアリマス、唯ダ茲ニ請願ガゴザイマス、此請願ハ政府ニ於キマシテハ青森縣民一般ヲ代表シテアル請願トハ認メテ居リマセヌ、尙ホ詳細ノコトハ委員會ニ於テ述べマスルガ、唯ダ一言政府ハ反對ノ意見ヲ表明シテ置キマス

○子爵大田原一清君 此際チヨット一言申上ゲテ置キマスガ、曩ニ此委員付託ガ殘ラズ議長ノ御指名ト云フコトニナツテ居リマスガ、此裁判所案ハ、ドチラモ八ト十ハ同ジ様ニ思ヒマスカラ、是ハ同一委員ニ付託シタイト考ヘマス、一言申上ゲテ置キマス

○伯爵柳原義光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 大田原子爵ノ動議通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十二、會計法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

會計法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十年三月二十一日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 杉田 定一

會計法中左ノ通改正ス

第八條 豫備金ノ支出アリタルトキハ次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出シ其ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス

第十二條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

國務大臣ハ憲法第七十條ノ場合ヲ除クノ外豫備費ノ定額以外ニ豫算超過又ハ豫算外ノ支出ヲ爲スコトヲ得ス

附則

本法ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 此衆議院提出案ニハ政府ハ同意ヲ致シマセヌノデゴザイマス、此會計法ノ改正ハ二ツゴザイマス、第一ノ點ハ豫備金ノ承諾ハ唯今デハ年度經過後ニ提出イタシマスノヲ、ソレヲ次ノ議會ニ提出シテ貫ヒタイト云フノデゴザイマス、其理由ハ豫備金ト云フモノハ承諾ヲ與ヘナケレバナラヌモノデアルガ、餘リ時日ヲ距ツテ居ルト承諾ヲ與ヘル效力ガ薄クナル、成ルベク近い議會デ承諾ヲ求メテ貫ヒタイ、ソレカラ第二ノ點ハ政府ガ豫備金ノ盡キタ場合ニ豫算外支出ヲスルガ、是ハ憲法第七十條ノ場合ノ外ハセヌヤウニト云フコトニ致シタイ、斯ウ云フ二ツノ點デゴザイマス、併ナガラ政府ノ見マス所デハ、現在ノ會計法ガ年度經過後ニ豫備金ノ計算書ヲ提出スルト云フコトヲ規定イタシマシタノハ、詰リ豫備金ヲ支出シテモ、ソレ

ヲドウ云フコトニ使ウタト云フコトヲ、使ヒ拂ヒニナラヌ以上ハ承諾不承諾ヲ與ヘルノハ甚ダ不十分デアアル、唯ダ支出ト云フコトヲ政府ガ致シマシテモ、ソレガ未ダ使ッテナイ、使ッテナイモノヲ承諾不承諾ヲ言フノハ甚ダ不十分デアルト云フコトカラ、年度經過後ニ計算ガ纏マリマスカラ、ソコデ承諾ヲ求メ付キマシテ便利ト考ヘテ居リマスノデ、之ヲ今日變更スルト云フコトハ却ッテ不便利ヲ來タスモノト考ヘマス、又第二ノ豫備金ノ盡キタ場合ノ支出ニ付キマシテハ、一々勅令ヲ以テ豫算外ノ支出ヲスルト云フコトハ、如何ナモノデアラウカ、詰リ今日、剩餘金ノ支出、或ハ豫算外ノ支出ト云フコトハ、憲法ニモ會計法ニモ別ニ規定ガ無い、政府ガ責任ヲ取ッテ已ムヲ得ズ致シマスノデ、之ヲ法律ヲ以テ規定スルト云フコトハ出來ニクイコトト考ヘテ居リマス、ソレ故ニ此二點トモ未ダ十分ニ研究ヲ盡サレタ案デ無イト政府ハ信ジマスノデゴザリマス、一應意見ヲ述ベマス

○伯爵柳原義光君 大分、出席者ノ數モ殖エタヤウデアリマスカラ、決算委員總會ヲ開キタイト思ヒマスガ、再ビ御許可ヲ與ハラレムコトヲ希望イタシマスイマセスカ

○議長(公爵徳川家達君) 決算委員長ノ要求通り御退席ニナツテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、宜シウゴザイマス

○男爵小澤武雄君 議事日程ノ追加ヲ願ヒタウゴザイマスガ、關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法案、第一讀會ノ續、之ヲ議事日程ヲ追加シテ今日ノ議題トセラレムコトヲ希望イタシマス

○子爵新莊直陳君 贊成

○子爵松平容大君 贊成

〔其他〕贊成ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 小澤男爵ノ關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法案、第一讀會ノ續ヲ議事日程ヲ追加シテ今、議シタイト云フ動議ニ贊成ガアリマシタカラ採決イタシマス、小澤男爵ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス、直ニ議事日程ヲ變更イタシマシテ委員長ノ報告ヲ煩ハシマス

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法案
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也
明治四十年三月二十三日
右特別委員長
男爵小澤 武雄

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス、直ニ議事日程ヲ變更イタシマシテ委員長ノ報告ヲ煩ハシマス

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法案
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也
明治四十年三月二十三日
右特別委員長
男爵小澤 武雄

貴族院議長公爵徳川家達殿
〔男爵小澤武雄君演壇ニ登ル〕

○男爵小澤武雄君 關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法案、是ハ委員會ニ於テハ全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、極簡單ナ案デゴザイマシテ何モ疑モゴザイマセヌガ、唯ダ委員會ニ於テ一ツ質問ノゴザイマシタノヲ御參考ニ申シテ置イタ方宜カラウト思ヒマス、明治二十八年ノ勅令第九十二號ト云フモノヲ以テ「戰時若クハ事變ニ際シ特設又ハ分駐セル陸軍軍衙若クハ陸軍團隊ニハ必要ニ應シ臨時陸軍軍法會議ヲ設クルコトヲ得」ト云フ規定ガ法律ニナツテ居リマス、始メハ緊急勅令テ出スノデゴザイマスケレドモ、ソレデ之ガアルカラシテ今度此議題ノ法案ガ出來ナクテモ濟ミハシナイカト云フコトガ一ツノ質問デアッタ、勿論此戰サ後、今日マデ關東都督府及韓國駐劄軍ノ方ニ於テハ此勅令ニ依ッテ軍法會議ヲ實行シテ居ルノデアリマスカラ、無理ニ是デ此上モ繼續シテヤルコトハ出來ナイト云フコトハアリマスマイ、今日マデ既ニソレデ參ッタルデアルカラ、ケレドモ關東都督府ナリ韓國駐劄軍ト云フモノハ何時マデ是ガ今ノ姿デ居ルカト云フコトハ決マリノ無イコトデア

ルカラシテ、二十八年ノ勅令ニ依ッテヤルヨリカ新ニ斯ウ云フ法律ヲ作ルガ至當デアアル、又ソレニ付イテ何等ノ經費等モ別ニ改メテ要スル譯デモ無イコトデアアルカラ、斯ウ云フ法案ヲ提出シタト云フ、陸軍大臣ノ答辯デゴザイマシテ、委員會ニ於テハ能ク了解ラシ、滿場一致ヲ以テ此法案ヲ可決シタ次第デアリマス、此段ヲ御報告ニ及ビマス、サウシテ是ハ極簡單ナ法案デアリマスルカラ、ドウゾ讀會省略ヲ以テ可決ニナラムコトヲ希望イタシマス

○南郷茂光君 贊成

○中島永元君 贊成

○田中芳男君 贊成

○子爵樋口誠康君 贊成

○男爵松平正直君 贊成

○湯地定基君 贊成

〔其他〕贊成「ト呼ブ者多シ」

○議長(公爵德川家達君) 小澤男爵ノ讀會省略ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案特別委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ本案ハ確定イタシマシタ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十四、衛生參考館擴張ノ建議案、三宅秀君提出、會議

衛生參考館擴張ノ建議案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治四十年三月十四日

發議者 三宅 秀

贊成者 伯爵正親町實正

貴族院議長公爵德川家達殿

衛生參考館擴張ノ建議案

今ヤ文運漸ク隆盛ニ赴キ全國ノ圖書館ハ其ノ數一百ノ上ニ超エ史傳博物ノ稽查ニハ幾十ノ博物館アリ兵器ノ沿革優劣ヲ參考研究スルニハ遊就館アリ其ノ他教育博物館工藝參考館ノ類各地ニ開設セラルルモノ尠カラズ然ルニ衛生事項ヲ研究セムトスルニハ内務省ノ所管内ニ唯一ノ參考館アルノミ而シテ其ノ開設ハ二十年前ニ係リ其ノ中ニ陳列スル標本及模型等ハ概ネ舊式ニ屬シ今日學問ノ程度ヨリ見ルトキハ殆ト參考ノ資トスルニ足ルヘキモノ

鮮ナシ依テ此ノ際大ニ其ノ規模ヲ改正擴張シテ現今内外ニ實施セラルル衛生工事ノ模型衛生的施設ニシテ模範トナスヘキモノヲ選ミ之カ設計模型等ヲ蒐集シ汎ク公衆ノ覽ニ備ヘ以テ衛生思想ノ發達ト衛生當事者ノ參考ニ資セムコトヲ望ム依テ之ヲ建議ス

理由

衛生參考館ナルモノハ人生ニ必須ナル衣服飲食物及住屋ヲ始トシテ諸般ノ直接衛生ニ關係アル物品ヲ或ハ現物或ハ模型ニテ一館内ニ蒐集展列シ各品ノ利害優劣ヲ比較參照スルノ便ヲ與フルモノニシテ吾邦ニ於テハ過ル明治二十年之ヲ創設シ衣服飲食物ノ標本有害性著色料上水下水ノ雜形消毒竈及住家ノ模型等數百點ノ陳列品アリト雖爾來二十年間ニ於ケル衛生上施設ノ進歩ハ全ク舊觀ヲ脱シタル故ニ陳舊ナル陳列品ハ參考ノ資ト爲スニ足ラサルハ勿論ナリ現ニ内國各地ニ布設シタル上水道及下水道ノ設計模型等一モ備ハラス防疫上頗ル有效ナリシ消毒裝置殺鼠船ノ雜形モ之ヲ見ス今ヤ戰後國力ノ發展ニ伴レテ各市街地ニハ上水若ハ下水ノ布設ヲ急要トシ或ハ市區ノ改正ト共ニ排水ノ企畫ヲ爲シ或ハ港灣ノ修築浚渫ヲ爲スニ當リテ潜水器ヲ用ヰテ衆多ノ工夫ハ深水ヲ潛リ水底工事ヲ營ミ又交通機關ノ發達延長スルニ隨テ衝突顛覆或ハ雪中埋沒等ノ災厄アリ又近時大ニ勃興セル諸多ノ工業中鑛坑ノ崩壞爆發等ノ危險漸ク其ノ度數ヲ加ヘ又紡織業ニ從事スル職工ニハ吸塵病(肺病)多ク工場ノ煙突ヨリ吐出スル有害ノ煤煙ハ近隣ノ老樹ヲ枯死セシメ工場ヨリ流出スル汚水ノ河水ニ入ルトキハ田圃ノ作毛ヲ減損シ魚族ノ繁殖ヲ妨ク蓋シ此等ノ被害ハ悉ク延テ人類ノ衛生ニ障礙ヲ累及スルモノナレハ豫メ之ニ對スル適當ノ除害ノ施設ヲ爲シ以テ災厄ヲ防遏シ得ヘキモノナリトス茲ニ於テ從來本邦ニ於テ被害豫防病災豫防トシテ實行セラレタル施設ハ細大漏サス其ノ現物或ハ模型ヲ造リテ之ヲ參考館ニ備ヘ又海外諸國ニテ實施セラレ好成績アルモノハ其ノ雛形ヲ購求シテ陳列品トナシ一面ニハ工事ノ設計ヲ爲ス技師ノ參考ニ供シ一面ニハ其ノ企畫ニ干預スル當局者(吏員議員)ノ參考ニ資スルトキハ其ノ利益頗ル大ナリ曾テ獨乙ニテハ普通ノ衛生參考館以外ニ工業衛生參考館ヲ特設シタリ而シテ又日常ノ生活ニ必要ナル衣食住ニ就キテノ標本類ハ學生生徒ノ直觀的示教ニ於テ頗ル裨益アルモノニシテ毒蟲毒魚毒菌ノ標本又ハ模型ヲ一回目擊スルトキハ終生忘却スルコトナシ去ル明治二十六年第五回内國勸業博覽會ノ際内務省ハ

獨乙ヨリ伯林市街ノ汚水排除法及沃田ノ雛形ト英京倫敦市ノ塵芥燒却場ノ模型トヲ出陳シテ大ニ觀覽者ノ衛生思想ヲ開發シタル實例アリ本年ハ伯林ニ於テ萬國衛生博覽會ノ開設アリテ必ス有益ナル陳列品許多アルヘシト信スルヲ以テ此ノ機ヲ逸セス有益ナル參考品ヲ購入シ一方ニハ現在ノ參考館ヲ改築シ且之ヲ擴張シテ邦内ニ於ケル衛生上ノ設備ヲ模造シ大ニ參考館ノ規模ヲ改メ汎ク世間ニ鴻益ヲ與ヘラレムコトヲ欲スルニアリ

〔三宅秀君演壇ニ登ル〕

○三宅秀君 私ガ提出イタシマシタ建議案ハ理由書モ附ケテハゴザイマスルガ、至ッテ不文ナコトデ御了解ニ御苦ミデゴザイマセウト存ジマスカラ、今日ニ至リマシテ長演説ハ致シマセヌガ、唯ダ理由書ノ中ニ不十分ナ所ガゴザイマスルカラ、之ヲ附加ヘテ致シテ置キタイト思ヒマス、ソレト今一ツ茲ニ登リマシタ所以ハ、一向此經費ノコトヲ此理由書ノ中ニ書イテゴザイマセヌ、ソレ故ニ御贊成ヲ下サル方ニ於キマシテハ、ドレクラ非經費ノ掛カルモノデアラウカ、此際假令良イコトデアッテモ巨額ノ金ヲ要スルヤウナコトデアッテハ贊成シ兼ネルガ、ト云フヤウナ方ニモ有ラシヤラウト存ジマスカラシテ、最初ノ希望ハ随分大キナコトヲ持出ス積リデゴザイマシタガ、段々豫算ナドモ六億以上ニ上ボッテ居リマスルコトガ分リマシテゴザイマスカラ、實ハ提出者ノ希望ハ大ニ縮小イタシマシテ、サウシテ衛生參考館ノ擴張ヲ計リマスコトニ致シマシタノデアリマス、其最初ノ希望ハ一ノ大參考館ヲ設立スル、今日在ルモノヲ眼中ニ置カズニ新ニ一ノ大參考館ヲ設立シヤウト云フヤウナ希望デゴザイマシタカラ、從ッテ費額モ澤山要リマスルコトデゴザイマスケレドモ、今日ノ際、サウ云フヤウナコトヲ申シマシテハ到底僅カノ進歩モ見ルコトガ出來ナイト存ジマスカラ、已ムヲ得ズ提出者ノ希望ノ方ヲ大ニ縮小イタシマシテ、サウシテ在來ノ參考館ヲ擴張スルト云フ案ニ立テ直シマシタ次第デゴザイマス、モト此衛生參考館ノ成立ヲ申シマスルト、重モニ衛生思想ヲ啓發スルト云フ考デゴザイマスルカラシテ、申サバ教育ノ方ノ精神デ參考館ハ出來テ居リマスル、教育博物館ノ一ツノヤウナモノデゴザイマス、ソレ故ニ御覽ニナリマシタ御方ハ御承知デゴザイマセウガ、衛生參考館ト申シマスルト人間ノ身體ハドウ云フモノデ組立テラレテ居ル、又身體ヲ健康ニ保ッテ行クニハドレ程ノ物ヲ食料トシテ用非ナケレバナラヌト云フコトヲ重モニ柘目ニ盛リマシテ、數字ヲ列ベマセス、柘目ニ致シマシテ各成分ナドヲ

示シタモノガゴザイマス、全ク是ハ教育的ノ精神カラ出タモノデゴザイマセウ、然リマスルニ衛生ノコトハ總テノ行政ニ結ビ付イテ居リマスルモノデゴザイマスルカラシテ、唯ダ些々タル人間ノ身體、竝ニ之ヲ保護シテ行キマスル所ノ衣食住グラ非デハゴザイマセズ、有ラユル政事ニ皆結ビ付イテ居リマスルカラシテ、其行政經畫ニ關係ヲ有ッテ居リマスルモノモ亦衛生參考館ノ中ニ随分大部分ヲ占メテ居リマス、一々ソレヲ書キ列ネマスルコトモ餘リ冗長ニナリマスルカラシテ、唯ダ一二ノコトヲ此理由書ノ中ニ書イテ置キマシテゴザイマスルガ、現ニ茲ノ理由書ノ中ニゴザイマスル「防疫上頗ル有效ナリシ消毒裝置」ト云フコトガアリマスルガ、是ハ二一七八年役、竝ニ此度ノ日露戰爭ノ後ニ凱旋兵ガコチラヘ戻リマスル頃ニ、陸軍ニ於テ行ヒマシタ所ノ消毒裝置ナドト云フモノハ頗ル届イタモノデ、恐ラクハ海外ニモアア云フノハ例ガ少イ位ナモノデアリマス、是ハ陸軍ノ大輸送ト云フ時バカリ必要ガアルモノデハナイ、總テ海港デ檢疫ヲ受ケマス時分ニ無用ナ時間ヲ費ヤサレテ其爲ニ長ク足止メラサレルノハ、御旅行ニナリマシタ御方ハ皆御承知デアリマセウガ、大ニ痛苦ヲ感ズル譯デアリマス、ソレ故ニ消毒ノコトナドハ完全ナラシメテ、且ツ短時間ノ中ニ十分ニ其事ガ遂ゲラレマシヤウナ仕掛ヲ備ヘナケレバナラヌ譯デアリマスルカラシテ、此度陸軍デ實行サレテ居ル消毒裝置ナドト云フモノハ必ズ衛生參考館ヘ見本トシテ置カナケレバナラヌモノデアラウト存ジマス、是モ缺ケテ居リマスカラト云フコトヲ茲ヘ數ヘ舉ゲマシタノデアリマス、ソレカラ殺鼠船ト云フコトヲ書イテ置キマシタガ、是ハ御承知ノゴザイマセヌ御方ニハ、チヨット、御理解ガムツカシウゴザイセウガ「ペスト」ノ流行ハ鼠ガ齧ラシテ來ルノデアアル、海外カラ鼠ガ齧ラシテ來ルト云フコトデアリマスカラ、海外カラ參リマシタ船ハ此船ノ中ニ居リマスル所ノ鼠ヲ殺シ盡シマスル新シイ機械ガゴザイマス、是ハ今日ノ政府デ既ニ實行シテ居ルコトデアリマシテ、三艘モ其實物ガアルノデゴザイマス、ケレドモ三艘デ實行シテ居リマスケレドモ、參考館ノヤウナ所ニ、一ノ雛形ガ有ッテ然ルベキコトト存ジマスカラ、ソレ故ニ茲ヘ數ヘ舉ゲテ置キマシタノデアリマス、ソレカラ續キマシテ「市區改正ト共ニ排水ノ企畫ヲ爲シ或ハ港灣ノ修築浸深ヲ爲スニ當リテ」ト云フコトヲ書イテ置キマシテゴザイマスガ、今日國力ノ發展ト共ニ市區改正ヲ致シマシタリ、或ハ各地ニ上水下水等ヲ設ケマシタリ、又港灣ヲ改修築造スルコトガ大流行デ、何所ニモサウ云フコトガゴザ

イマス、ゴザイマスルケレドモガ、是ハ唯ダ港灣ヲ改修シテ海陸ノ連絡ヲ便ニスル位ノコトニハ止マラス、必ズ其港灣修築ニ伴ウテ陸上ノ設備ト云フコトガ必要デアル、其陸上ノ設備ニハ衛生上ニ關スル設備ガ一日モ缺クベカラザルモノデアリマス、ソレト云フモノハ港灣ガ立派ニナリ、其土地ガ繁昌ニナリマスルト、益々土地ガ不潔ニナリマスルカラ、此不潔ヲ除ケルト云フコトヲ最初カラ考ヘテ置カケレバナラヌノデアリマス、然ルニ現ニ東京ヲ例ニ取ツテ見マスルト、市區改正ト云フコトハ十數年前カラ行ハレテ居リマズルケレドモ、排水ノコトハ漸ク今日ニナツテ氣ガ付イテ、汚水ノ始末ヲ今日經畫シテ居ルヤウナ次第デアツテ、是ハ自然十數年後レテ參リマス、此上ニ東京ニハ築港ト云フコトヲ企テテ居リマスルカラシテ、若シ築港ガ追々進ンデ參リマシテ、港灣ガ出來上ガル、港灣ガ出來上ガッタ所デ、今日ノ有様デ陸ノ汚水ヲ港灣ノ内ニ流スト云フヤウナコトニナリマシタラ、頗ル不健康ノ港灣ニナリマス、築港ガ出來上テ海陸ノ連絡ハ便利ニナルカ知レマセヌケレドモ、港灣ダケガ立派ニ出來上テ其港灣ノ中ニ陸ノ汚物ヲ勝手ニ流スト云フヤウヤウナコトデハ、逆モ築港ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイダラウト思ヒマス、故ニ港灣ガ立派ニ出來上ガルト共ニ陸ノ汚物ガ港灣ノ内ニ流レ込マヌヤウニシテ、遠ク港灣ノ外マデモ汚水ヲ流サナケレバナラヌト云フ設計モシナケレバナラヌト思ヒマス、詰リ港灣ト陸上ノ設計ト相俟ツテ離レザルコトハ斯ノ如キ關係ガアルノデゴザイマス、上水ノ如キモ東京ガ盛ニナルニ從ツテ、ドレホド人が増シテ來ルカ、其人ノ増殖スル割合ヲ積リマシテ、サウシテ設計ヲ立テマスルケレドモ、陸上ノ設計バカリデハ不完全ト云フモノデアリマス、能ク世間デ國家百年ノ計ナドト申シマスルケレドモ、百年ノ計ドコロデハゴザイマセヌ、港灣モ出來上ガリ市區改正モ出來上ガツテ、立派ナ設備ガ出來マシタナラバ、十年モ經タヌ中ニ再ビ今日ノ設計ヲヒツクリカヘサナケレバナラヌコトガ起ララウト思ヒマス、其譯ハ現ニ港灣ヲ有テ居リマスル横濱デアリマスルトカ、或ハ長崎デアリマスルトカ、又大阪デアリマスルトカ、神戸デアリマスルトカ云フモノハ、追々築港ナドガ出來上ガツテ立派ナ港灣ニナリ、之ニ巨船大船ガ始終出入ヲ致シマスルト云フト、其船舶ニ要スル水ト云フモノハ餘ホド夥シイコトデアリマス、決シテ陸上ノ人間ガ飲用ニ供シテ居ル位ノコトデハキカナイノデアリマス、ソレカラモウ一ツ考ヘナケレバナラヌコトハ、日本ハ一方ニ太平洋ヲ控ヘテ居ル、此太平洋ヲ控ヘテ居リマス

ルカラシテ、其船ノ航程ハ少クモ十日以上ヲ費ヤサナケレバナラヌ、半月モ航海シテ行カナケレバナラヌヤウデアリマス、ソレデ一隻ノ乗組人ガ百人ト見マシテ、ソレガ十五日ノ航海ヲスル間ノ飲料水ヲ貯ヘルモノト見ルト、少クモ千五百人前ノ水ガ必要デアリマス、船ハ唯ダ一艘デアルガ、千五百人前ノ水ガ必要デアルト云フコトニナツテ參リマス、其他汽船ヲ運轉スルニ付イテモ水ト云フモノガ必要デアル、其水モ惡ルイ水デハイカヌト云フコトニナルト、水ノ分量ガ非常ナモノニナルデゴザイマセウ、ソレ故ニ港灣ヲ修築シテ盛ンナモノニシテ大船ガ著キ易イヤウニスルノハ喜バシイコトデアルガ、一方ノ衛生上ノ設備モ之ニ伴ハナケレバナラヌ譯デアリマスカラ、成ルベク斯ウ云フヤウナ實地問題ニナツテ參リマス事柄ヲ雛形ニ現ハシマシテ、參考館ニ置キマシタナラバ、唯ダ最初ノ希望ノ如ク人智啓發グラ非ノ小サイコトデナク行クデアラウ、此ニ於テ大ニ其參考館ヲ擴張シナケレバナラヌト云フ必要ガ起ツテ參リマスノデアリマス、ソレカラ先ニ參リマシテ交通機關ノ所デ「雪中埋沒等ノ災厄」ト云フコトヲ書イテ置キマシタガ、此雪中埋沒ト云フノハ、汽車ガ雪ニ埋メラレルト云フコトハ、日本デハ東北地方ニ間々ゴザイマスルバカリデ、餘リ他ニハゴザイマセヌノデゴザイマス、併ナガラ是ハ稀ニアルカラト云ツテ之ニ對スル設備ヲセヌノハ、頗ルヌカリナコトデアラウト本員ハ考ヘルノデアリマス、亞米利加アタリデモ近ゴロ大風雪ノ害ガアリマシテ、數輛ノ汽車ガ雪中ニ埋沒シタト云フコトガアリマシタ様子デアリマスガ、其列車ノ埋沒ニ對シマシテ、別ニ燃料ヲ澤山ニ貯ヘテ置キマス、又乗客ノ飲食物ナドヲ別ニ貯ヘル車ガゴザイマシテ、雪中ニ埋沒中、饑寒ニ迫ルコトノ無イヤウニ、三日グラ非ハ籠城ノ出來ルヤウナ裝置ガシテアル様子デゴザイマス、今日ハ鐵道モ段々軌道ガ伸ビテ參リマス、殊ニ鐵道ガ國有ニモナリマシタ場合デアリマスカラ、十分ニサウ云フ場合ノ設備ヲセラルルガ必要ダト認メマス、若シ其設備ガ出來マスレバ、直グニ之ヲ採ツテ、汽車ガ雪中ニ埋沒シタトキニハ斯ノ如キ防禦ガアルト云フヤウナコトヲ、此參考館ノヤウナ所デ人民一般ニ見セルヤウニシタイト思ヒマス、一方ハサウ云フ設計ヲ立テ、一方ハ參考館デ其設備ノ綿密ナルコトヲ人民ニ知ラセタイト云フ考デゴザイマス、ソレカラ工業、諸工業ノ中デ鑛山業ニ就キマシテ「鑛坑ノ崩壞爆發等ノ危險漸ク其ノ度數ヲ加ヘ」ト書イテゴザイマス、漸ク其度ヲ加ヘルト云フノハ、唯杜撰ニ申シタノデゴザイマセヌ、近イ調ベヲ讀ンデ見マスルト、

殆ド身ノ毛ノヨダツ程デアリマス、即チ三十七年ノ調ベニ依ルト、鑛山ノ變災ニ依ッテ死傷シタ者ノ數ガ千二百十九人、ドウカ能ク御記憶ヲ願ヒマス、千二百十九人デアリマス、ソレカラ三十八年ニハ三千八百十人ニ上ボツテ居リマス、一躍シテ三倍以上ニナッテ居リマス、ソレカラ三十九年ノ調ベニ依リマスルト云フト、六千九百三十三人トナッテ居リマス、僅カ三年ノ間ニ死傷者ノ數ガ約ソ六倍バカリニ殖エテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ變災ニ出遇ヒ、死傷者ヲ作ルト云フノハ、畢竟スルニ衛生ノ設備ガ薄イカラデアリマス、若シ之ヲ十分手厚ク致シマシテ、是等ノ變災ヲ免レルヤウナ方法ニシマシタナラバ、其方法手段ヲ悉ク雛形ニ作リマシテ、ソレヲ衛生參考館ニ列ベテ、斯ノ如キ防禦ノ方法ガアルト云フコトヲ人民一般ニ廣ク知ラセタイ考デアリマス、ソレカラ「吸塵病」ト云フ文字ヲ使ッテ置キマシタガ、此吸塵病ト云フ字ニ付キマシテハ定メテ諸君ノ中ニ御疑ガ起ッタカモ知レヌト思ヒマス、是ハ工場ノ中ニハ塵ガ多ウゴザイマシテ、其塵ヲ吸ッタ爲ニ肺病ニナリマシタ者ノコトデゴザイマス、丁度職工ガ新ニ工場ヘ入ッテ參リマストキニハ不鍛練ナ者デアリマシテ、謂ハバ研究半バデ工場ニ入ッテ參リマス、稽古半バデ工場ヘ這入ッテ來ル、段々鍛練シ老練シテ良イ品物ヲ拵ヘテ來ル頃ニハ肺病ニナッテ死ンデ仕舞フ、或ハ勞働ニ堪ヘナイト云フ風ナコトハ、唯工場主ガ困ルバカリデナク、大キク申スト國家ノ損ニ相違ゴザイマセヌカラ、必ズ之ニ對シテ吸塵病ノ起ラヌヤウナ設備ト云フモノガ各工場ニ必要ナデアリマス、之ニ付キマシテ、工場法モ亦法律トシテ必要デアリマセウケレドモ、唯ダ珍シイ文字ヲ使ッテ居リマスカラ、皆サンノ疑ヲ解キマスル爲ニ一言イタシテ置キマス、ソレカラ「煙突」、工場ガ出來テ煙突ガ餘計ニナルト必ズ煙害ト云フモノガ出來ル、又汚水ガ河ニ流レルト魚族ガ絶エタリスルコトガアルト云フコトヲ申シテ置キマシタ、是ハ矢張り一番好イ適例ニナリマスノハ足尾銅山ノコトガ一番適例デアラウカト存ジマス、足尾銅山ノ鑛毒ニ付キマシテハ國家モ十分之ニ精力ヲ注イデ調査ヲシ、又除害裝置ナドモ十分ニ出來テ居リマス、其除害裝置ガ出來テ居ルニモ拘ラズ、一朝大雨ノ時ナドニナリマスルト、其河川ガ氾濫イタシマシテ害毒ノ有ルモノガ河下ヘ流レテ、毎年ノヤウニ渡良瀨川地方鑛毒被害地ナドカラ色々ナ苦情ガ出テ參ルヤウナ譯デゴザイマス、是モ何トカ更ニ方法ヲ案ジテ拵ヘナケレバナリマス、其方法ヲ案ジテ設備イタシタナラバ、早速參考館ノヤウナ所ニ雛形ヲ持ッテ來テ、十分

是ダケノ防禦ガ施シテアルト云フコトヲ廣ク人民ニ知ラセタイモノト思ヒマス、又一方鑛毒ノ被害ト云フモノガ著クゴザイマスルナラバ、其鑛毒被害地ノ土壤、土ナドモ集メテ參考館ヘ置クガ宜シイ、又其地方デ出來マス蔬菜、野菜ナドノヤウナモノ、木竹ナドノヤウナモノモ、ドレホド發生ガ惡ルイカト云フコトヲ標本トシテ、害ヲ被ッタ時ノ標本ト致シテ陳列シテ置キマシタナラバ害ヲ防グ方ノ設備モ是ダケニ整ッテ居ル、又害ヲ防ガナイ前ニハ是ダケノ害ヲ被ッテ居ッタト云フコトヲ知ラセルニ、最モ好イ陳列品デアラウト存ジマス、又此中ニハ書イテ置キマセナンダカ、兩三年引續キマシタ東北地方ノ凶作デゴザイマス、其凶作地ヘ行ッテ見マスルト云フト、食ッテ居リマス物ガ餘ホドマヅシイ物ヲ食ベテ居ル様デアリマスルガ、日本デハ重モニ米食ヲシテ居ル國デアリマスルカラ、凶荒ニ出遭ヒマシタ時分ニ食トスベキ品物ハ彼ノ救荒本草ナドト云フ書物モ出來テ居ル位デ、米ノ出來ナイトキニハ斯ウ云フ物ヲ食ベテ宜シイト云フコトヲ教ヘテゴザイマスガ、是ハ古イ調ベテゴザイマシテ、今日日新ノ科學ガ進ミマシタ所ヲ以テ調ベ上ゲテ、サウシテ先ヅ米麥ノ作ノ惡ルイトキニハ斯ノ如キ物ヲ以テ代用ニシタラ宜カラウト云フ物ヲ集メテ、サウシテ矢張り陳列場ニ竝ベテ置キマシタナラバ、大ニ其土地ノ人民ハ直接ニ利益ヲ得ルコトハ出來マス、マイケレドモ、間接ニ之ヲ見テ參ッテ、サウ云フ不作ノ時ノ凌ギニスルコトモ出來ヤウト存ジマスカラ、是モ一ツノ有用ナル陳列品デアラウト存ジマス、衛生參考館ニ現ニ備ヘテ居リマス品物ハ甚ダ不十分デゴザイマスルケレドモ、併シ他ノ地方ニハ何所ニモ一ツモ斯ウ云フ類ノ物ガゴザイマセヌ、ソレ故ニ他ノ地方ニ於テ衛生會ナドヲ開キマスル準備ニ、必ズ此唯一ノ參考館ヘ參考品ヲ借リニ參ルノデアリマス、借リニ參リマシテ貸シテヤリマスルト、必ズ返リマス時分ニハ多少破損ナドヲ受ケテ居リマスルカラ、無ケ無シノ參考品ガ段々損ジテ減ッテ行クト云フバカリノ有様デアアル、遂ニハ參考品ヲ保管シテ居リマスル吏員ガ貸サナイト云フコトニナッテ仕舞フデアラウカト深ク私ドモハ憂ヘテ居リマス、若シ一ツノ參考館ガ中央ニ出來マシテ、此參考館ガ果シテ有益ナモノデアルト云フコトヲ感ジマシタナラバ、各地方尠クトモ府縣廳所在地ニ於キマシテ之ニ倣ヒマシテ參考品ヲ地方相應ニ備ヘルヤウナ參考館モ生ミ出サレテ參ラウカト存ジマスカラ、兎ニ角、一ツノ模範タルベキ參考館ハ今日ノ狀態ヨリ餘ホド振ハシテ貰ハナケレバナラヌト云フ考テ、此案ヲ提出イタスニ立至ッタ次第デアリ

マス、ソレカラ費用ノコトヲ一言イタシテ置キマス、最初私ガ案ヲ提出イタシマスル時分ハ、衛生參考館設立ノ建議ト、斯ウ云フ工合ニ致シマスル積リデ昨年ノ四五頃ハ大ニ其考ヲ有ッテ居リマシタノデアリマス、ト申シマスルノハ戦後ノ經營デ色ミナ大經營ガ起ッテ參リマスルシ、又國力ノ發展ト共ニ工事ナドモ盛ンニ起ッテ參リマスルガ、衛生參考館ノコトニ付キマシテハ何所デ一言モ承ハラヌヤウナ次第デアリマスルカラ、衛生ノコトモ、負ケズニ大キナ事ヲヤッテ見タイト云フ考デ居リマシタガ、前申シマスル通り段々國費モ殖エテ參リマスルシ、當年ハ六億以上ノ豫算ナドト云フコトヲ聽イテ見マスルト、如何ニモ此大キナ事ハ持出サレナイコトニナリマシテゴザイマス、併シ最初ニ私ガ大キイト申シマシタノハ、金額ニ致シマシテハ皆様ガ御驚キニナリマスルヤウナ多額デハナイノデアリマス、僅カ新設イタシマスノニ建築等ニ於テ二十萬圓モ有レバ宜イト考ヘマス、ソレカラ設立ガ出來マシテカラ、年々新タナ標本等ヲ拵ヘマシテ、サウシテ之ヲ保管スル吏員ヲ置キマシテ、此方ノ費用ガ經常費ガ年ニ二萬圓足ラズデ宜カラウ、ソレ位ノ所デ經常費モ足リヤウカト存ジマスノデスカラ、私ハ多額ト存ジマスルケレドモ、或ハ皆サンハ格別多額デナイト云フ御感ジヲ御有チニナルカモ知レナイ、是ハ或ハ大ニ多額ヲ取ッテ斯ノ如キモノヲ持出シテハ此案ノ前途ガ覺東ナイト存ジマスルカラ、ソレ故ニ擴張案ト云フコトニ致シマシテ、今在ル不完全ナモノヲ段々年々少シク少シク陳列品ナドヲ増シテ參ルコトニ致シマス、是マデノヤウナ唯ダ教育ト云フバカリデナク行政ノ助ケニナルヤウニスルモノヲ段々置換ヘテ行ク、斯ウ云フ目的ニ致シテ、此建議ガ幸ニ皆サンノ御同情ヲ得マシテ通過イタシマシタ以上ハ、五千デモ一萬デモ二萬デモ詰リ大經濟ノ中カラ剩餘金ナリ何ナリ出マシタラ、ソレダケツツ注込シテ此參考館ヲ擴張スルト云フコトニナリマスレバ宜シイ、頗ル小規模ニ縮小シマシタノデアリマス、聞ク所ニ依リマスルト、本年獨逸ニ衛生博覽會ヲ開クニ付イテ其爲ニ當局ト當該學者ナドヲ四五人モ派遣シタナレバ宜カラウト云フコトノ建議案ガ衆議院ノ方ニ出マシテ、政府モ之ヲ容レラレマシタガ、唯ダ人數ハ五人ヤルカ三人ヤルカト云フ方ノ人數ノ制限ハ無カッタヤウデアリマスガ、政府ノ方デモ此コトハ甘諾サレマシタ、私ノ考ヘマスルニハ此外國ヘ派遣スル人ハ儉約ヲシテ一人ヤルニハ五千圓ヤ六千圓ハ必ず要リマスカラ、其人數ヲ縮少イタシマシテモ衛生參考館ノ擴張ト云フ方ニ意ヲ注ガレルヤウニ致シタイ、サウ云フ

方ノ方針ニ向ケタイト云フ考デ、今日此會期切迫ノ間ヲ願ミズ此案ヲ出シマシタ次第デゴザイマス、何卒唯今ノヤウナ次第デゴザイマスカラ、餘リ金ノ要ラナイコトデアリマスカラ、御心配ナクドウカ通過スルヤウニ願ヒタウ存ジマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御議論モ無イヤウデアリマスカラ、本建議案ヲ可トスルヤ否ヤノ採決ヲ致シマス、本建議案ヲ可トセラルル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ請願ノ會議ニ移リマスガ、諸君ニ御諮リヲ致シタウゴザイマス、議事日程ノ第十五ヨリ第二十九マデ一括シテ問題ト致シマシテ御異存ゴザイマセズカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

意見書案

北海道鐵道買收補償ニ關スル件

北海道鐵道株式會社社長男爵北垣國道呈出

右ノ請願ハ當會社ノ本免許狀指定期限ハ明治四十一年五月ナリシモ工事進行中東洋ノ風雲不穩ノ兆アリシヲ以テ當時經濟界ハ非常ニ窮迫シ且多額ノ工費ヲ要スルヲモ願ス其ノ竣成期ヲ短縮シテ速成ヲ計リタル爲函館小樽間ノ全線開通ヲ見ルニ至リ國家ニ貢獻シタルトコロ尠少ナラス然ルニ鐵道國有法ニ依リ買收セラルルニ當リ曩ニ建設實費ニテ買上クヘキ命令アリ且之カ速成ノ爲費用増加シタルニ拘ラス建設費以內ニテ尙公債證書ヲ以テ買收セラルル等其ノ算定法ハ不當ニシテ株主ニ多大ノ損害ヲ蒙ラシムルモノナルニ依リ鐵道國有法中ニ之カ補償ヲ受ケ得ヘキ條文ヲ追加セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

妊婦ノ犯罪ニ關スル件

廣島縣佐伯郡水内村平民僧侶橋勇龍呈出

右ノ請願ハ犯罪人タル妊婦ニ對シ刑ヲ開始シ進ムテ刑ノ宣告ノ執行ヲナストキハ其ノ母體ノ被ル心身上ノ異常ハ忽チ胎兒ニ及ヒ爲ニ健康ニ危害ヲ與フルハ生理上明ナルノミナラス分娩後攝養法等ノ不完全ナルニ依ツ惡影響ヲ及ホスコト亦甚シキヲ以テ刑法中特ニ妊婦ニ對シテハ一定ノ期間裁判ノ中止及刑ノ執行ヲ猶豫スルノ規定ヲ設ケラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

利根川及江戸川浚渫工事進捗ノ件

埼玉縣北葛飾郡栗橋町平民根岸門藏外千九百三十名呈出

右ノ請願ハ利根川ハ今ヤ第二期浚渫工事ニ著手セラレムトスルモ其ノ區域狹隘ニシテ利益ヲ享クルモノ尠ナク且江戸川ハ近來河底埋塞シテ舟楫ニ不便ナルノミナラス上流利根川ノ水流ヲ停滯セシムルコト甚シキヲ以テ二川ノ工事ヲ擴張シ其ノ工費モ國庫支出ノ外尙一府五縣(東京、千葉、茨城、埼玉、栃木、群馬)ニ分擔セシメテ速ニ起工セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

渡良瀬川河身改修ノ件

栃木縣安蘇郡犬伏町平民農佐瀬米吉外三十六名呈出

右ノ請願ハ渡良瀬川ハ足尾銅山ノ鑛業盛ナルニ伴ヒ河底埋塞シテ水流通セス其ノ結果洪水氾濫シテ浸水區域擴張シ年年湛水ノ患ニ困ミツアル請願人等ノ地方ハ遂ニ到ルトコロ廢田トナリ了ルヘキヲ以テ利根川河身改修工事設計中ニ其ノ支流タル渡良瀬川ヲ編入シ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

函館港灣修築ニ關スル件

北海道函館區天神町平民漁業内山吉太外二百九十九名呈出

右ノ請願ハ函館港ハ現下戰後實業ノ發展ニ伴ヒ通商貿易頻繁ニ内外船舶ノ往來夥シキモノアルモ常ニ強烈ナル風浪ノ爲交通運輸ヲ阻碍シ且土砂ノ堆積年年其ノ度ヲ増スヲ以テ軍艦其ノ他大船ノ碇泊ニ不便ヲ蒙ラシムルコト尠ナカラス實ニ本道拓殖上ニ至大ノ惡影響ヲ及ホシ一日モ等閑ニ附シ難キヲ以テ政府ハ明治四十一年度ヨリ適當ナル築堤建造ニ著手セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

高等工業學校設立ニ關スル件

北海道函館區天神町平民漁業内山吉太外二百九十八名呈出

右ノ請願ハ北海道ニ於ケル各種製造工業ノ勃興スルニ隨ヒ高等教育ヲ受ケタル技術者ノ需要日ニ多キヲ加ヘタルニ拘ラス未タ適當ナル機關ノ設備ナ

キハ將來ノ發達上大ニ遺憾トスルトコロナルヲ以テ此等教育ノ好材料ヲ供給スルニ足ル函館區ニ官立高等工業學校ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

狩獵法施行規則一部改正ノ件

茨城縣北相馬郡高井村農會長中久木周平外十二名呈出
右ノ請願ハ近年害蟲ノ爲ニ農作物ノ損害ヲ蒙ルコト實ニ甚シキニ依リ其ノ撲滅策トシテ明治三十四年農商務省令第七號狩獵法施行規則第二十九條ニ列舉シアル保護鳥ハ害蟲驅除ニ最有益ノモノナレハ之カ蕃殖保護ノ必要上同第二十七條ノ禁鳥中ニ加ヘ第二十九條ハ之ヲ削除セラレ尙同規則中ノ列記ニ洩レタルモノノ中ニモ禁鳥トスヘキモノ數多アルヲ以テ調査ノ上禁鳥トセラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

日露戰役ニ關スル個人損害救濟ノ件

東京市牛込區筑土八幡町平民貿易商杉浦龍吉外十三名呈出
右ノ請願ハ請願人等ハ曩ニ西伯利亞及滿洲地方ニ在リテ商工業或ハ貿易等ニ從事セシニ日露開戰ノ爲多年辛苦經營ニ成レル事業及財貨ハ之ヲ遺棄シ僅ニ身ヲ以テ免レ歸リタルモノナルニ依リ今ヤ再ヒ起テ事業ヲ計畫スルノ餘力ナキノミナラス一家離散ノ悲境ニ沈淪セルノ情態ナルヲ以テ各人カ事變ノ爲被リタル損害ノ救濟ヲ仰キタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

學生團體乘車割引規程改正ノ件

長野縣信濃教育會北安曇部會長樫田三郎外一名呈出
右ノ請願ハ戰後教育ノ發展ニ伴ヒ益學生生徒及兒童等ノ智育體育ノ開發ヲ計ルニハ修學旅行ヲナサシムルノ利益ナルヲ認ムルモ鐵道作業局ノ現行學生生徒及兒童團體乘車割引規定ニテハ之ヲ全フスルコト能ハサルニ依リ團體十人以上ハ人員ト哩數トニ依リ割引ノ等差ヲ付セスシテ總テ之ヲ半減スルコトニ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

人權保護ノ件

朽木縣下都賀郡藤岡町平民農川島フサ外三名呈出
右ノ請願ハ請願人等ノ地方ハ明治三十五年中暴風雨ノ爲ニ堤防決潰セシ以來殆ムト五箇年間浸水ノ災害ヲ被リ殊ニ農作物ニ對スル損害ハ實ニ百萬圓以上ニ達スルノ有様ナルニ拘ラス本縣當局者ハ未タ何等ノ工事ニ著手セサルヲ以テ之カ救濟ノ爲速ニ適當ナル設備ヲ施サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達
内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

立木ニ關スル登記法制定ノ件

靜岡縣磐田郡浦川村平民材木商澤内宗次郎外七十七名呈出
右ノ請願ハ殖林ノ經營ハ尠ナクモ五十箇年以上ノ歲月ト莫大ノ資本トヲ要
スルカ故ニ山林ヲ抵當トシテ之カ資金ノ供給ヲ得ムトスルモ立木ニ對スル
權利不確定ナルヲ以テ其ノ契約ヲ爲スニ當リ不利ノ條件ニ屈從スルノ止ム
ヲ得サルニ至レルノ結果事業ノ經營中倒産ノ悲境ニ陷ルモノ多ク隨テ林業
經濟ノ基礎ヲ薄弱ナラシムルヲ以テ當業者ヲシテ圓滑ニ資金ノ融通ヲ受ケ
シムル爲立木ニ關スル登記法ヲ制定シ其ノ權利ノ存在ヲ確認セラレタシト
ノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法
第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

家祿不足額給與ノ件

茨城縣水戸市上市馬口勞町士族商大高織右衛門外三十七名呈出
右ノ請願ハ請願人等ハ舊水戸藩治改制以前ニ於テ各一定ノ家祿ヲ有シ居リ
タル者ナルモ明治三年藩制改革ニ伴ヒ之ヲ減額セラレ或期間内渡ノ名義ノ
下ニ其ノ二分ノ一乃至三分ノ二ヲ下付セラレタルカ同九年金祿公債證書ニ
改メラルルニ當テ之ヲ換算スルニハ當然本祿高ニ依ルヘキモノナリシニ拘
ラス内渡高ニ依リ之ヲ換算セラレタルハ錯誤ニ出テタル處分ナルヲ以テ同
三十年法律第五十號ニ依リ政府ニ對シ其不足額ノ給與ヲ出願セシニ却下セ
ラレタルハ不當ナルヲ以テ再調査ノ上家祿不足額給與ノ恩典ニ浴セシメラ
レタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因
テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

裁判所支部復舊ニ關スル件

新潟縣岩船郡村上町町長澤渡朝憲外一名呈出
右ノ請願ハ新潟地方裁判所新發田支部ハ明治三十六年中國費節減ノ爲不幸
ニシテ廢止セラレタルモ當地方ハ土地ノ遠隔交通機關ノ不備及經濟上其ノ
他ノ關係ニ於テ不便不利甚シク今ヤ人民ノ困難其ノ極ニ達セル有様ナルヲ
以テ裁判所構成法第三十一條ノ趣旨ニ基キ之ヲ復舊セラレタシトノ旨趣ニ
シテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五
條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

利根、渡良瀬兩川改修工事速成ノ件

栃木縣下都賀郡部屋村平民農佐山榮助外百七十三名呈出
右ノ請願ハ請願人等ノ地方ハ今ヨリ十有餘年ノ後ニ非サレハ利根川河身改
修工事ノ利益ニ浴スルコトヲ得サルモ毎歲洪水ノ氾濫沿岸ノ埋沒堤防ノ破
壞等ノ爲ニ害ヲ被リ今ヤ生命財產ノ不安ヲ感スルニ至レルヲ以テ到底如斯
緩慢ナル處置ニ信賴スル能ハサルニ依リ其ノ速成ヲ計ルカ爲第二期第三期
ノ計劃ヲ一括シテ千葉縣佐原町ヨリ群馬縣佐波郡芝根村迄ヲ一區域ト爲シ
明治四十年度ヨリ十箇年間ノ繼續事業トシテ起工セラレ併セテ渡良瀬川ニ
於テモ其ノ害毒ノ及フトコロ益甚シキヲ以テ曾テ政府ニ於テ其ノ河身改修
上ノ調査ヲ遂ケラレタル方針ニ依リ之ヲ速成セラレ以テ關係地方ノ生產業
ノ發達ヲ擁護セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキ
モノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

賣藥稅法改正ノ件

賣藥稅法改正ノ件

富山縣富山市鍛冶町富山賣藥同業組合組長中田清兵衛呈出

右ノ請願ハ賣藥稅ニ印紙稅ヲ課スルハ當業者ノ收支價ハナル爲斯業ノ萎靡不振ヲ來シ他方ニ於テハ購買者ノ負擔ヲ重クスルノ結果貧困ナル病者ヲシテ服藥治療ノ途ヲ失ハシメ尙其ノ検査手續ノ繁雜ナルト徵稅費ノ莫大ナルハ單ニ當業者ニ取リテノミナラス政府ノ爲ニモ不便甚シキモノナルニ付輸出賣藥以外ノ賣藥ニ對シテハ其ノ賣上高ニ基キ且現在印紙稅ノ範圍内ニ於テ課稅セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

○男爵伊達宗敦君 此請願ノ二十一ニ付イテハ私ハ一ツ質問ヲ委員長ニ...

○議長(公爵德川家達君) 御質問デゴザイマスカ

○男爵伊達宗敦君 ハイ

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○男爵伊達宗敦君 請願委員長ハドナタデゴザイマスカ私ハ存ジマセヌガ、

此二十一ニ狩獵法施行規則一部改正ノ請願ト云フコトガゴザイマスガ、是ハ

私ノ茲ニ受取ッテ居リマスル案デ見マスルト、近來ハ大變蟲ガ殖エル、ソレ

ガ爲ニ農作物ノ損害ヲ被ムルコトガ甚ダアルニ依ッテ其撲滅策トシテ狩獵法

施行規則第二十九條ニ列舉シテアル保護鳥ハ蟲ヲ捕ッテ、稻其他ノ作物ノ妨

ゲトナルモノヲ防グノデアッテ、最モ有益ナモノデアアル、ソレデアアルカラ二

十九條ニ施行規則ノ二十九條中ニ列舉シテアル保護鳥ヲ同規則ノ二十七條

ノ各鳥ノ中ニ加ヘタイ、斯ウ云フコトト思ヒマス、ソレデ請願委員會ハ大體

ニ於テ採擇スベキモノト云フコトニ御決マリニナッテ居リマスルガ、果シテ

請願委員會ニ於テハ此二十九條中ニ列舉シテアル鳥類ハ草木其他ノ蟲ヲ捕ル所

ノ鳥デアアルト云フコトガ御分リニナッテ居ルデスカ、御調ベニナッテ居リマス

ルカ、ドウデスカ、ソレヲ承リタイ、若シ御調ベニナッテ居リマスレバ、

ドウ云フ鳥類デアリマスカ、ドウカ其鳥類ノ名前ヲ承リタクゴザイマス、甚

ダ御手数デゴザイマスケレドモ...

○三宅秀君 是ハ委員長ハ、一々其鳥類ノ名前マデハ調ベテ居リマセヌデゴ

ザイマス畢竟此鳥類ハタシカ四月カラ十月ノ間ダケハ狩獵ヲ許サレテ居ル

鳥類デアアルケレドモ、是ハ皆何レモ益鳥デアアルカラ、年中捕ルコトハ出來ナ

イ方ノ所ニ移シテ仕舞ヒタイ、即チ二十九條ヲ削除シテ二十七條ノ中ニ合セ

テ貰ヒタイ、斯ウ云フ請願デアリマス、併シサウシテ見タ上デ、此二十九條

ニ掲ゲテアリマスル鳥類ノ外ニ二十九條ニ掲ゲテナイ外ノ鳥類ニモ益鳥ガア

ル、ソレモ二十七條ノ中ニ加ヘテ貰ヒタイト云フヤウナ大體ノコトダケヲ本

員ハ承ッテ居リマス、ソレデ多數ガ之ヲ容レルト云フコトニ致シマシタ譯デ、

チヨットソレダケ御答ヲ致シマス

○男爵伊達宗敦君 實ハ三宅サンニ御尋ネヲ致シマスノハ甚ダ工合ガ悪ルイ

ト考ヘマスケレドモ、今ノ現行施行規則ノ二十九條ニアル所ノ鳥類、其鳥類

ハ植物其他ノ害蟲ヲ食料ニスルト云フコトデアアルナラバ、成ルホド耕作上必

要デアアルカ知レマセヌガ、若シ其鳥ガ蟲ヲ食ハヌ鳥デアアル、例ヘバ草ノミヲ

食ベテ穀類ヲ食フ、魚ヲ食フト云フヤウナ鳥類デアッテ、例ヘテ申スト葡萄

ニ付ク蟲、或ハ稻ニ付ク蟲ト云フモノヲ餘リ捕ラナイ鳥類デアリマシテモ、

尙ホ矢張り此二十九條ヲ削ッテ二十七條ノ中ニ入レナケレバナラヌト云フ御

考デゴザリマセウカ、ソコガ御調ベニナッテ居リマセヌト、大體ヲ採ルト云

フコトニナッテモ、マルデ役ニモ何ニモナラヌ話デアラウト私ハ考ヘル、甚

ダ専門達ヒノ御伺ヒ致シマシテ御氣ノ毒ニ存ジマセケレドモ、私ハ之ニ付イ

テ少々意見ヲ有ッテ居リマスカラ、ソコヲ伺ッタ上デ意見ヲ述ベタイト思ヒマ

ス

○三宅秀君 ソレハ甚ダ何デゴザイマスガ、委員長ニハ御答ガ致シ兼ネマス、

請願委員會ハ之ニ付イテハ大變宜イコトトシマシタノデ、ドナタガ之ヲ御擔

當デゴザイマシタラウカ、法制科ノ方デ御受持ノ御方ガ御答ガ出來マセウカ、

如何デゴザイマセウ、若シ之ニ御答ガ出來ヌトナリマススト云フト、私ドモハ

ソレカラ先キハ力ガ無イノデアリマス

○男爵伊達宗敦君 委員長ノ御答辯ハ誠ニ御尤ト思ヒマス、ドウゾドナタカ

御擔當ノ方ガ、之ヲ御調ベニナリマシテ、若シ此議席ニ御居デニナルナラバ、

御答ヲ願ヒタイト存ジマスガ、ソレガアリマセヌナラバ私ハ之ニ反對ヲ致シ

タイト思ヒマス

○男爵金子有卿君 私モ法制科デ審査イタシマシタ一人デアリマスガ、唯今

私ハチヨット他ニ出テ居リマシテ御質問ノコトヲ伺ヒマセヌガ、私ガ御答ノ出

○男爵伊達宗敦君 金子男爵カラ、答ガ出來ルコトナラ答ヘテ見ヤウ、モウ一遍聞キタイト、斯ウ云フコトデアリマスガ、一體此現行ノ狩獵法施行細則ノ二十七條ト云フモノハ禁鳥ニナツテ居ル、禁鳥トハ書イテアリマセヌガ保護鳥ト書イテアリマス、ソレデ是ハ絕對ニ捕獲ヲ禁ジテアル、例ヘテ申シマスト、鶴ノ如キ、或ハ四十雀カササギ五十雀カササギ其他ノ鳥、是ハ如何ナル場合デモ捕獲ヲスルコトハ出來ヌノデアリマスカラ、之ヲ禁鳥トマア私ドモハ認メテ居ルノデアリマス、ソレカラ二十七條ノ方ニアルハ、鶴トビノ如キ、鷓シロノ如キ、或ハ鳩ノ如キ、鷓シロノ如キ、鶉ウズラノ如キ、是ハ二十九條ニアル、是ハ今請願委員長カラ御述ベニナツタヤウニ、捕獲スル鳥類ノ期間ガ附イテ居ル、ソレデ四月三十日ヨリ九月三十日マデハ捕獲スルコトハ出來ナイ、裏カラ申シマスレバ十月一日カラ四月三十日マデハ捕獲スルコトハ出來ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、若シ二十七條ヲ持ッテ來テ二十九條ニ入レルト云フコトニナルト鳩ノ如キモノモ鷓シロノ如キモノモ絕對的ニ捕獲スルコトハ出來ナイト云フコトニナル、ソレデ此二十七條ニアル所ノモノハ果シテ稻作其他作物ヤ何カ、或ハ葡萄、植物、斯ウ云フモノニ害ヲ與ヘル蟲ヲ食料トシテ捕ル鳥デアルヤ否ヤ、ソコヲ伺ッタノデアリマス、御分リニナツテ居ルナラ伺ヒタイ

○男爵金子有卿君 委員會デ賛成シマシタノハ唯今ノ鳥モ總テ保護鳥ニスル、蟲ヲ捕ッテ益アルモノデアルカラシテハ期限ナシニ是ハ禁止ノ中ニ入レタラ宜カラウト云フ、請願委員ノ説ニ賛成シタノデアリマス、其委シイコトハ調ベテ居リマセヌ

○男爵伊達宗敦君 ソレデハ私ハ此採擇スベカラズト云フ反對ノ意見ヲ述ベタイデスガ、如何ニモ是ハ簡單デアリマスカラ、是カラ申シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○男爵伊達宗敦君 唯今、大抵質問デ皆サンニモ御分リニナツテ居リマセウト思ヒマスガ、狩獵法ノ施行細則二十七條ニ列擧シテアル所ノ鳥類ト申スモノハ燕ノヤウナモノ、鶴ノヤウナモノ、其他ハ日雀ヒメチヤトカ四十雀カササギチヤトカ殆ド食用ニモ供スルコトガ出來ヌ位ノモノデアリマス、又甲乙ノ狩獵者トシテ見テモ之ヲ捕ッテ見ク所デ、營業ノ爲ニ捕ルモノニシテモ、是ガ大シテ利益ニナルモノデモナイ、又遊戯ノ爲ニスル人デアッテモ小雀カササギデアルト四十雀デアルトカ云フモノハ格別狩獵家ノ獲物トシテモ大シタモノデモナ

イ、其上ニ請願委員長カラ御述ベニナツタ通り、葡萄デアルトカ梅ノ新芽ニ附クトカ云フヤウナ蟲ヲ捕ッテ彼等ノ食物トシテ居ルノデアリマス、ソレデアルカラ是ハ農業上、禁鳥トシテ蟲ヲ捕ラセ、自然的ニ小鳥ヲシテ蟲ヲ捕ラスト云フコトハ最モ宜シイ事デヤラウト思フ、然ルニ二十九條ニ擧ゲテアル所ノ鳥、鷓シロ、椋鳥、雲雀、鶉、雷鳥、鶉、松鷄マドリ、鶉ウズラハ無イガ鳩、鷓シロニアルモノノ中デ蟲ヲ捕ッテ食料ニ專ラシテ居ルモノハ鷓シログラナモノデアラウト思ヒマス、是ハ小サナ蟻アリノヤウナモノダトカ稻ニ付ク蠶カイコノヤウナモノヲ專ラ食料トシテ居ル、鷓シロト云フモノハ御案内ノ通り木ノ實ヲ食スル鳥デ殆ド蟲ハ食ハナイト言ッテモ宜シイ、雲雀モ植物其他、木ノ上ヘ止マル鳥デハナイ、地ノ上ヲ這ッテ居ッテ蚯蚓ノ小サイヤウナモノヲ捕ッテ食シテ居ルノデ、是ハ植物ニ害ヲ與ヘルヤウナ蟲ハ捕ラヌ、雷鳥ト云フモノハ畑ヤ何カニ居ルモノデハナイ、私ハ専門家ノ飯島博士ニ承ッダガ、是ハ重モニ高山ニ居ル鳥デ、謂ハユル英吉利語デ「スノーライン」ト云フヤウナ所ニ居ッテ畑ヤ何カニ出テ來ルモノデアリマセヌカラ是ハ入レルニ及バヌ、ソレカラ松鷄、是ハ北海道ニ居ル、即チ英吉利デ謂フ「グラウス」、是ハ小サナ木ニ止マル蟲ヤ何カ捕ルモノデ無クシテ大キナモノヲ獵ル、雉ヤ鶉ウズラノ食ベルモノヲ食ベテ居ル鳩ハ、チヨット假ニ鷓シロヲ御飼ヒニナツテ見テモ分リマスガ蟲ヤ何カ食ヒハシマセヌ、豆デアルトカ稗アザミデアルトカ重モニ穀物ヲ食ベテ居ルモノデゴザイマス、是モ矢張り農家ニ害ヲ與ヘル所ノ蟲ヲ捕ッテ間接ニ農業ノ助ケニナルヤウナコトハ出來ナイ、ソレカラ鷓シロニ行キマシテハ澤山種類ガアリマスガ、是ハ皆述ベルニモ及ビマスマイガ、此鷓シロト云フモノハ此所ニ御出デノ方ハ大概御分リニナルト思フガ、嘴ノ長イモノデ地ノ中ニ居ル蟲ヲ刺シテ食ベル、チヨット言ッテ見ルト蚯蚓ノ小サイヤウナモノヲ食ベルノデアリマスカラ、是マタ木ダトカ或ハ野菜ダトカ云フモノニ附イテ居ル蟲ハ決シテ捕ッテ食フモノデハナイ、又此鳥ハ決シテ木ニ止マルモノデハナイ、其次ハ鷓シロデス、鷓シロト云フモノハ是モ同ジコトデ、是ハ殆ド絕對的ニ如何ナル場合デモ生物ハ食ハヌ、總テ穀物、稗ノヤウナモノヲ食ベル、野ニ居ルトキハドウ云フモノヲ食フカト云フニ、草ノ實ナドヲ食ベルノデ、蟲ヲ捕ッテ食ベルコトハアリマセヌ、是ハ私ガ申シマセヌノデモ此所ニハ大分銃獵家ノ専門家モ御居デニナリマスカラ御分リニナルガラウガ、サウ云フモノヲ二十七條ノ中ニ入

レルト云フコトハ、ドダイ農業ノ助ケトスルガ爲ト云フコトノ議論ハ決シテ立タヌト思フ、若シ二十七條ニ入レテ絶對的ニ禁鳥トシタラ諸君ハ鶉ナドヲ食ベルト云フコトハ決シテ出來ナクナル、鳩モ食フコトガ出來ナクナル、例ヘバ市ニ鶉ヲ出スト云フコトモ出來ナイ、其鶉ヲ飼ッテ啼聲ヲ聞クナント云フコトモ出來ナイ、何トナレバ之ヲ捕獲スルコトガ出來ナイカラデアアル、ソレデアアルカラ是ハ大ナル過チデアアルト考ヘマスルノデアリマスカラ、即チ請願ヲ茨城縣カラ提出ニナツタノハ何ノ理由ガアルカ知ラヌガ無論、是ハ政府ニ送付スルニハ及バヌ、役ニ立タヌ話デアアル、固ヨリ請願ト云フモノハソレホド效力ノ有ルモノデアアリマセヌケレドモ、多少ハ政府ノ參考ニナルモノデナクチャイカヌ、是ハマルデ請願ノ趣意ト云フモノガ立ッテ居ラヌカラ、私ハ此案ヲ送付スルト云フコトハ大ニ反對ヲ致シマス、ドウカ諸君モ採決ノ際ニ御起立ニナラナイヤウニ願ッテ置キマス

○菊池武夫君 第二十七ニ付イテナヨット意見ヲ述ベタイ
○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

〔菊池武夫君演壇ニ登ル〕

○菊池武夫君 第二十七ノ裁判所支部復舊ト云フコトデアリマス、此事ニ付イテハ私申シタイコトハ澤山アリマスケレドモ、時間ガ迫ッテ居リマスカラ成ルベク簡單ニ申上ゲマス、一體今日ノ裁判所ノ數ハ重モニ條約改正前ニ當リマシテ殖ヤサレタモノデ、區裁判所ノ如キハ今日ノ半分グラハシカ無カッタノデアリマス、從ヒマシテ其支部若クハ其上ノ地方裁判所ノ數モ少カッタノデアリマス、然ルトコロ諸般ノ制度ハ外國ノ例ニ據ルト云フコトノ流行リマシタ時分ニ、獨逸國ニ於キマシテハ、何百アル、佛蘭西國ニ於キマシテハ何百アルト云フヤウナコトヲ例ヲ引キマシテ、セメテ日本デモ此位ハ無ケレバナナルマイト云フヤウナコトガ重モナル理由ニナリマシテ、實際ノ必要ニ促サレタト云フ方デハナカッタノデアリマス、今日カラ唯サウ申上ゲルト、甚ダ當局者ガ謂ハレナイ事ヲシタヤウニ御考ヘニモナリマセウケレドモ、併ナガラ其當時ニアッテハ又一種ノ目的ガ有ッタンデアリマス、即チ條約改正ト云フ大目的ガ有リマシタニ依ッテ其目的ヲ達スルガ爲ニ、マア外觀上デモ司法機關ガ備ハッテ居ルト云フコトヲ示シタナラバ、謂ハユル其目的ハ早ク達セラレルノデアラウト云フ方カラ參ッタヤウニ私ハ記憶シテ居リマス、其志ハ甚ダ良イノデアリマスケレドモ、併ナガラ裁判所ヲ置キマスルニハ、矢張り

事務ノ方カラ參ラヌケレバ本當デナイノデアリマスカラ、其設置ノ理由ハ甚ダ重大ナルモノデハ、適當デハナカッタヤウニ考ヘマス、御承知ノ通り支部ト申シマス、區裁判所ヘ地方裁判所ノ出張所ヲ置クヤウナ姿ノモノデアリマス、其區裁判所ヲ多ク致シマスルニ付キマシテモ、政府ノ經費ダケデハ及バヌ所ガアリマシテ、其地方々々ノ人民有志者カラシテ、土地ヲ寄附サセタリ建物ヲ寄附サセタリ、金品ヲ寄附サセタリ、云フヤウナ助ケヲ地方人民カラ得テ、漸ク其設備ヲ爲シタト云フ箇所モ尠カラヌデアリマス、然ル所モウソレカラ餘ホド年數ガ經チマシテ、今日デ申シマスレバ、私ハ裁判所ナドハ大ニ整理ヲ要スル時代ニナツテ來タト思ヒマス、先達テモ或ル事柄デチヨット申シマシタガ、裁判所ノ中ニハ隨分用ガ少イ所ガアルノデ、何トカ是等ノ用ノ少イ裁判所ヘ人ヲ年中差置キマスルヤウナ不經濟ナコトヲセズニ、人ノ經濟モ取リ、事務ノ敏捷モ計ルト云フ方法ガ付キサウナモノデアルト云フコトヲ年來私ハ希望シテ居ルノデアリマス、現今ノ裁判所ノ數ハ右ノ如キコトデアルノデアリマスガ、其以來段々事務ハ減ッテ參リ、又一方ニ於テハ諸君モ御存知デアリマセウガ、區裁判所ノ權限ヲ擴張サレタト云フノガ近來ノ話デアリマス、ソレデ區裁判所ノ權限ハ廣クナリ、用ハ昔ヨリ少クナリ、斯ウ云フ場合ニ當リマシテハ、ドウシテモ支部ト申スモノノ如キハ減ジテ參ル方ガ時勢ニ適當ナル處置ト心得マス、故ニ三十年デアリマシタカ、一昨年デアリマシタカ、現ニ司法當局者ハ支部ノ數ヲ大變ニ減ジマシタ、減ジマシタカラ畢竟斯ウ云フ請願ガ出テ來ルノデアリマスガ、其減ジタト云フコトハツイ此頃ノ事デアリマス、未ダソレガ爲ニ如何ナル影響ガアルト云フコトハ分ラヌ位ノモノデアリマスガ、私ドモ承知シテ居ル所ニ依リマス、少シモ差支ナイ、減ラサレタノハ誠ニ適當デアアル、勿論其當時司法當局者ガ減ジマシタノハ例ノ戰後トカ戰中トカデ豫算ヲ減ゼラレマシタカラ、其方カラ起ッテ減ジタヤウニハゴザイマスケレドモ、原因ガドウデアリマシテモ實際爲シタル處分ハ適當ナル處分デアリマシタ、ソレ故ニ今日其數ヲ又元ヘ戻シテ餘計ニシヤウト云フコトハ私ノ甚ダ感服セヌ所デアリマス、隨分裁判所ノ設置デアルトカスノ如キ支部ノ復舊デアルトカ云フコトニ付キマシテハ、地方有志者ト稱スル者カラシテ請願ヲスルコトガ從來アリマス、ケレドモ謂ハユル有志者ナル者ハ果シテ司法權ノ擴張、或ハ權利擁護ニ熱心ナルモノデアルト云フト、決シテサウデハナクシテ、唯其土地ノ繁昌ヲ計ル種類ノ人ガ多イノデ

アリマス、裁判所デアルカラ元へ戻シテ貰ヒタイ、殖ヤシテ貰ヒタイト云フノデナクシテ、町村役場デモ郡役所デモ其他ノ役所デモ同じデアル、唯其土地ニアッタラバ幾ラカ其土地ガ繁昌シヤウト云フ位ノ淺薄ナル考カラシテ請願ヲ出スノデアリマス、故ニ其謂ハユル請願ナルモノモ私ハ餘リ當テニハナラスモノデアラウト思フ、兎ニ角モト今日ノ裁判所ハ置キ過ギテ餘計置イテアルモノデアルト云フコトノ歴史ヲ持ッテ居リマス、ソレカラシテ、其區裁判所ノ權限ハ擴張サレタモノデアルト云ヘバ、從來支部ト云フモノデ致シテ居リマシタ仕事ノ幾分ヲ區裁判所デスルト云フコトニナリマシタカラ支部ノ要ラヌト云フコトハ其外ニモウ一理由ガ殖エテ居リマス、ソレカラ減サレタト云フコトハ、ツイ此間ノ事デアリマスカラ之ヲ今皆復舊ヲスルト云フヤウナコトヲ請願イタス人ガアツテモ私ハ容易ニソレニ耳ヲ借スベキモノデアハアルマイ、政府ノ今日ノ當局者ハドウ考ヘテ居ルカ知リマセヌガ、減ジタ方ガ最モ適當デアラウト思ヒマスカラ、ドウカ是ハ御採用ニ相成ラザラムコトヲ希望イタシマス

〔子爵伊集院兼知君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 伊集院子爵ハ何デスカ

○子爵伊集院兼知君 私ハ今日ノ日程ノ第二十一ニ付キマシテ伊達君ト同ジ意見ヲ以チマシテ反對イタシマス、

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程ノ第二十一ト第二十七ノ請願ニ付イテハ大分、御論ガゴザイマシタカラ、採決ヲ致シマスノハ先ヅ第一ニ議事日程ノ第十五ヨリ第二十マデノ請願ヲ採擇スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、議事日程第十五ヨリ第二十マデノ請願ヲ採擇シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十一、狩獵法施行規則一部改正ノ請願、此請願ヲ請願委員長ノ報告通リ採擇ヲスルト云フ説ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス、故ニ採擇セザルコトニ決シマシタ

〔伊澤修二君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 伊澤君ハ何デスカ

○伊澤修二君 本員ハチヨット菊池君ニ質問ヲ致シタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) チヨット御待チテ願ヒマセウ、議事日程ノ第二十二ヨリ二十六マデノ請願ハ請願委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伊澤修二君 此場合ニチヨット菊池君ニ質問ヲ致シタイデスカ、此支部復舊ニ付イテハ御反對ト云フコトデアリマシタガ、裁判所管轄區域ニ付イテ即チ元ノ裁判所ソレ自ラヲ復舊シタイト云フコトノ議モ外ニ追ミアリマシヤウデスケレドモ、ソレニハ關係ハ無インデアリマスカ、矢張りソレトモ御反對デアリマスカ、其點ヲチヨット伺ヒタイ

○菊池武夫君 管轄ノ方ハ私ハ反對スルノデヤナイ、唯其支部ヲ復舊スルト云フ請願デアリマス、其方ニ付イテ言フノデ……

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程ノ第二十七、裁判所支部復舊ニ關スル請願、此請願ヲ採擇スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス、故ニ採擇セザルコトニ決シマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十八ヨリ第二十九ノ請願、此請願ハ請願委員長ノ報告通リ採擇イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、是レデ本日ノ議事ハ終リマシタ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ御報告イタサセマス

〔小原書記官朗讀〕

移民保護法中改正法律案特別委員

子爵仙石 政固君 子爵三島 彌太郎君 宮本 小一君

男爵吉川 重吉君 男爵安場 末喜君 何 禮 之君

森 山 茂君 安廣 伴一郎君 室田 義文君

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案特別委員

伯爵徳川 達孝君 子爵大宮 以季君 子爵牧野 貞寧君

辻 新次君 男爵野村 素介君 男爵野田 裕通君

男爵藤枝 雅之君 中島 永元君 伊澤 修二君

侯爵大炊御門幾鷹君 子爵本多 忠敬君 子爵酒井 忠亮君

兒島 惟謙君 男爵紀 俊秀君 男爵河邊 博長君

馬屋原 彰君 奥山 政敬君 野崎 啓造君

會計法中改正法律案特別委員

伯爵正親町 實正君 伯爵島津 忠亮君 男爵楫取 素彦君

子爵松平 直平君 男爵船 越衛君 男爵西五辻 文仲君

男爵中島 久万吉君 西村 亮吉君 得能 通昌君

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日は是デ散會ヲ致シマス

午後零時四分散會